

松崎町第5次総合計画策定のための
町民意識調査 結果報告書

目 次

調査概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査設計	1
3. 回収結果	1
4. 報告書の見方	1
調査結果	2
1. あなたご自身のことについて	2
2. 住みやすさや定住意向について	8
3. 町の取り組みに対する満足度・重要度について	14
4. まちの活力づくりについて	30
5. 行政について	54
6. まちの将来像について	61
結果まとめ	66
1. あなたご自身のことについて	66
2. 住みやすさや定住意向について	66
3. 町の取り組みに対する満足度・重要度について	67
4. まちの活力づくりについて	68
5. 行政について	69
6. まちの将来像について	69

調査概要

1．調査目的

町民の現在の生活環境や将来のまちづくりの方向性についてのご意見をお聞きし、新しい総合計画をつくるための基礎資料とするため実施しました。

2．調査設計

- (1) 調査地域：松崎町全域
- (2) 調査対象：無作為抽出による 18 歳以上の町民 1,500 人
- (3) 調査期間：平成 23 年 8 月 3 日～ 8 月 22 日
- (4) 調査方法：郵送による配布・回収

3．回収結果

配布数	回収数	回収率
1,500 件	685 件	45.7%

4．報告書の見方

- 図表の「n (number of case)」は、質問項目に対する回答者数を表しています。
- 回答比率は百分率 (%) で表し、小数点第 2 位を四捨五入して算出するため、合計が 100.0%にならない場合があります。
- 質問項目に「あてはまるものすべてに○。」または「あてはまるもの 3 つまで○。」とあるものに関しては、1 人の回答者が複数の選択肢に回答することができる質問であるため、すべての回答比率を合計すると 100.0%を超える場合があります。
- クロス集計の表やグラフでは分析軸となる設問に「無回答」がある場合は表示していません。よって、分析軸の n (回答者数) の合計が全体の合計と一致しない場合があります。
- クロス集計表において、下記の色分けは、それぞれその属性における 1 位回答と特徴的な回答を表しています。 **1 位回答** **！特徴的な回答！**
- 経年比較における「前回」は、平成 19 年度「松崎町後期基本計画策定のためのアンケート」結果を指します。

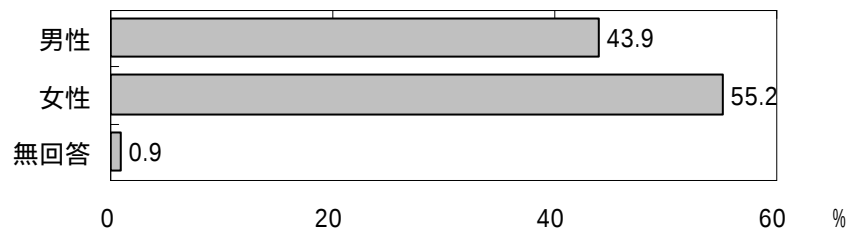
調査結果

1. あなたご自身のことについて

問1 あなたの性別はどちらですか。(1つだけに○)

性別については、「女性」が55.2%、「男性」が43.9%と女性が若干多くなっています。

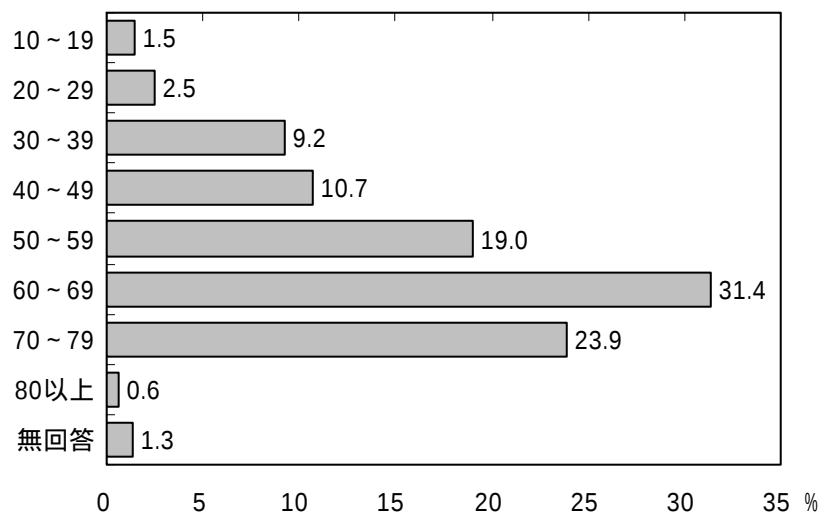
問1 (単数回答) n=685



問2 あなたの年齢を教えてください。(数字を記入)

年齢については、「60～69歳」が31.4%と最も多く、次いで「70～79歳」が23.9%、「50～59歳」が19.0%となっています。

問2 (単数回答) n=685



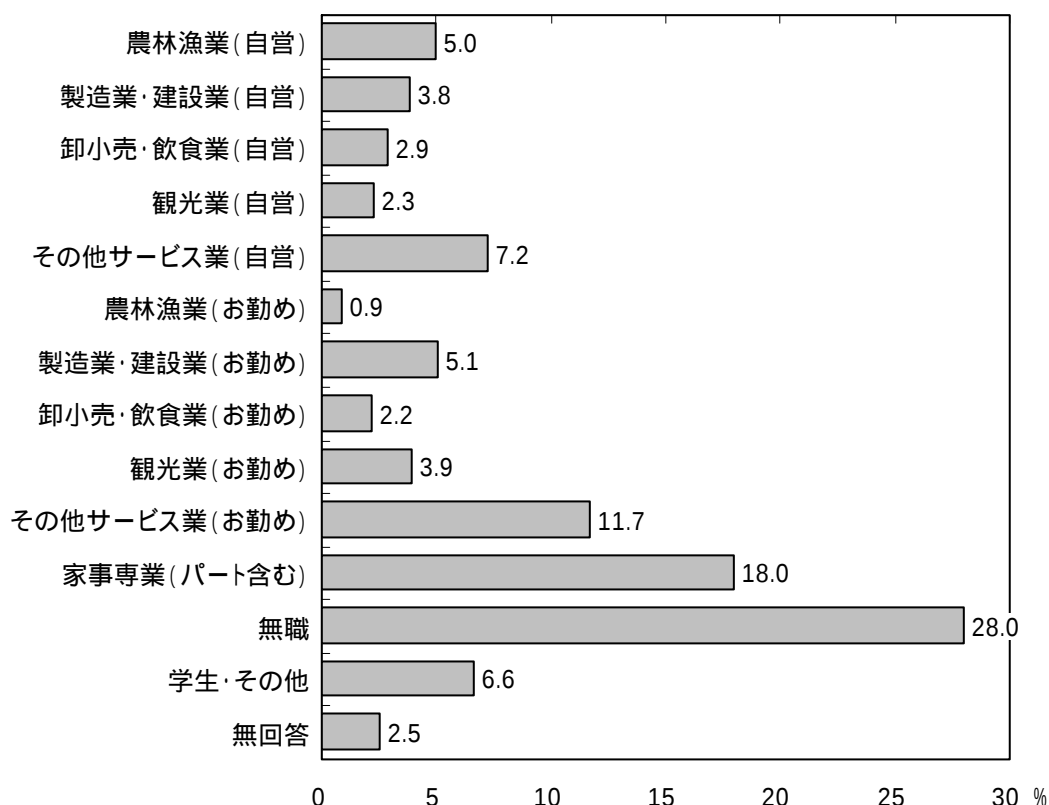
問3 あなたの職業は次のうちどれですか。[兼業の方は主な職業を選んでください]
(1つだけに。)

職業については、「無職」が28.0%と最も多く、次いで「家事専業(パート含む)」が18.0%、「その他サービス業(お勤め)」が11.7%となっています。

性別で見ると、男性では「その他サービス業(お勤め)」が15.6%と女性より多く、女性では「家事専業(パート含む)」が男性より多くなっています。

年代別で見ると、10代・20代では「学生」が、60代以上では「無職」が多くなっています。

問3 (単数回答) n=685



	n	営農 林漁業 (自 営)	製 造業・ 建設業 (自 営)	卸 小売・ 飲食業 (自 営)	観 光業 (自 営)	業 そ 他 サ ー ビ ス (自 営)	め 農 林 漁 業 (お 勤 め)	製 造 業・ 建設業 (お 勤 め)	卸 小 売・ 飲食業 (お 勤 め)	め 観 光 業 (お 勤 め)	業 そ 他 サ ー ビ ス (お 勤 め)	ト 家 事 専 業 (パ ー ト 含 む)	無 職	学 生・ そ 他	無 回 答
男性	301	6.3	7.0	2.7	3.0	9.0	2.0	8.3	2.7	5.6	15.6	0.7	26.6	8.0	2.7
女性	378	4.0	1.1	3.2	1.9	5.8	-	2.6	1.9	2.6	8.7	32.0	29.4	5.6	1.3

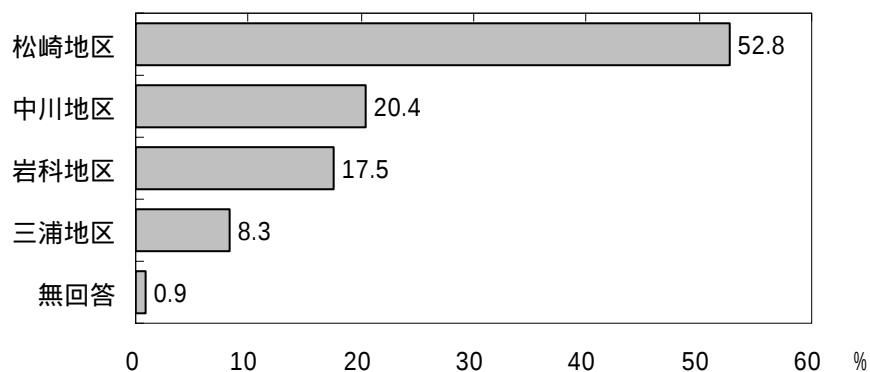
年代	n	営農 林漁業 (自 営)	製 造業・ 建設業 (自 営)	卸 小 売・ 飲食業 (自 営)	観 光業 (自 営)	業 そ 他 サ ー ビ ス (自 営)	め 農 林 漁 業 (お 勤 め)	製 造 業・ 建設業 (お 勤 め)	卸 小 売・ 飲食業 (お 勤 め)	め 観 光 業 (お 勤 め)	業 そ 他 サ ー ビ ス (お 勤 め)	ト 家 事 専 業 (パ ー ト 含 む)	無 職	学 生・ そ 他	無 回 答
10代	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10.0	-	10.0	80.0	-
20代	17	-	5.9	-	-	5.9	-	-	5.9	-	47.1	-	-	35.3	-
30代	63	-	4.8	3.2	3.2	7.9	-	7.9	3.2	3.2	17.5	34.9	7.9	6.3	-
40代	73	2.7	2.7	1.4	5.5	11.0	1.4	13.7	5.5	2.7	20.5	19.2	2.7	9.6	1.4
50代	130	1.5	3.8	4.6	3.8	10.8	1.5	8.5	1.5	9.2	21.5	16.9	5.4	7.7	3.1
60代	215	4.7	4.2	3.3	0.5	7.9	1.4	3.7	2.8	4.7	7.0	23.3	32.6	3.3	0.9
70代	164	10.4	2.4	2.4	2.4	2.4	-	0.6	-	0.6	1.2	8.5	63.4	1.8	3.7
80歳以上	4	75.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0	-	-

問4 あなたのお住まいの地区はどこですか。(1つだけに○)

居住地区については、「松崎地区」が52.8%と最も多く、次いで「中川地区」が20.4%、「岩科地区」が17.5%となっています。

各地区の内訳を年代別に見ると、「松崎地区」では他地区に比べ30代が1割を超えやや多くなっています。一方「三浦地区」では70代が3割を超え多くなっています。

問4 (単数回答) n=685



	合計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	無回答
松崎地区	362	1.7	2.2	11.0	11.6	18.5	30.9	23.2	0.3	0.6
中川地区	140	0.7	2.9	8.6	7.9	20.7	35.0	22.1	-	2.1
岩科地区	120	1.7	1.7	7.5	10.0	20.0	33.3	23.3	2.5	-
三浦地区	57	1.8	5.3	3.5	12.3	17.5	22.8	36.8	-	-

問5 あなたは松崎町にどのくらい住んでいますか。(1つだけに○)

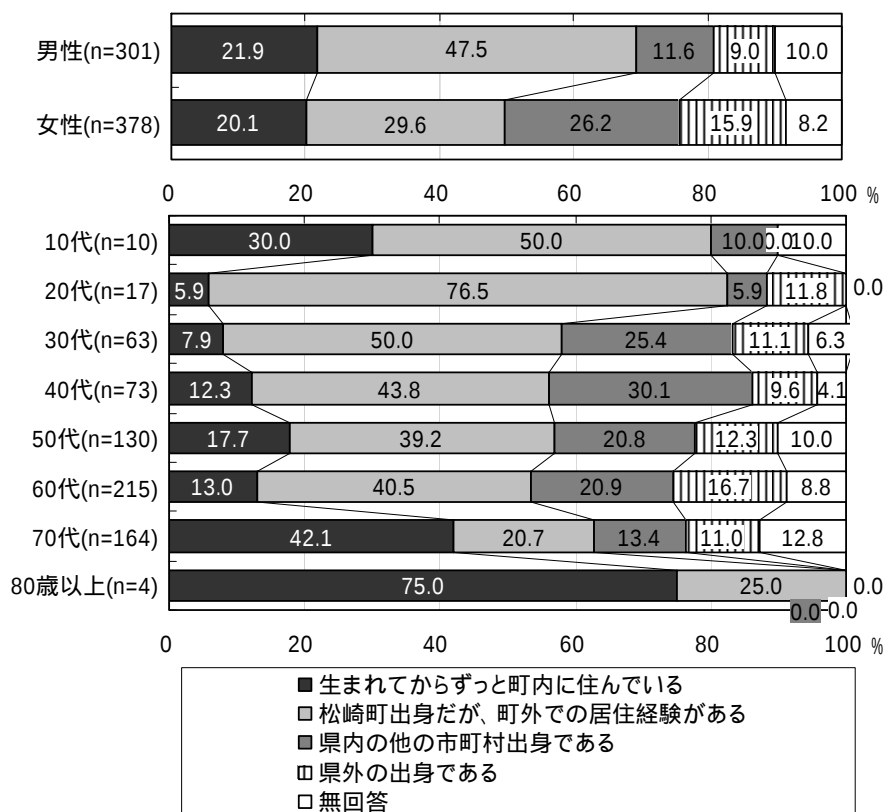
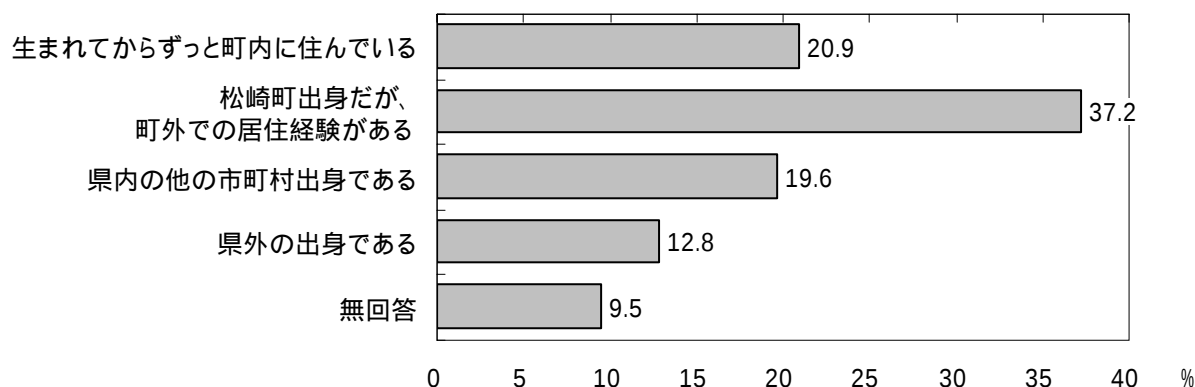
居住状況については、「松崎町出身だが、町外での居住経験がある」が37.2%と最も多く、次いで「生まれてからずっと町内に住んでいる」が20.9%、「県内の他の市町村出身である」が19.6%となっています。

性別で見ると、男性では「松崎町出身だが、町外での居住経験がある」が約5割と女性に比べ多く、一方女性では「県内の他の市町村出身である」や「県外の出身である」が男性に比べ多くなっています。

年代別で見ると、30代から60代では「県内の他の市町村出身である」が2～3割と多くなっています。また、70代以降は「生まれてからずっと町内に住んでいる」が多くなっています。

《居住状況》

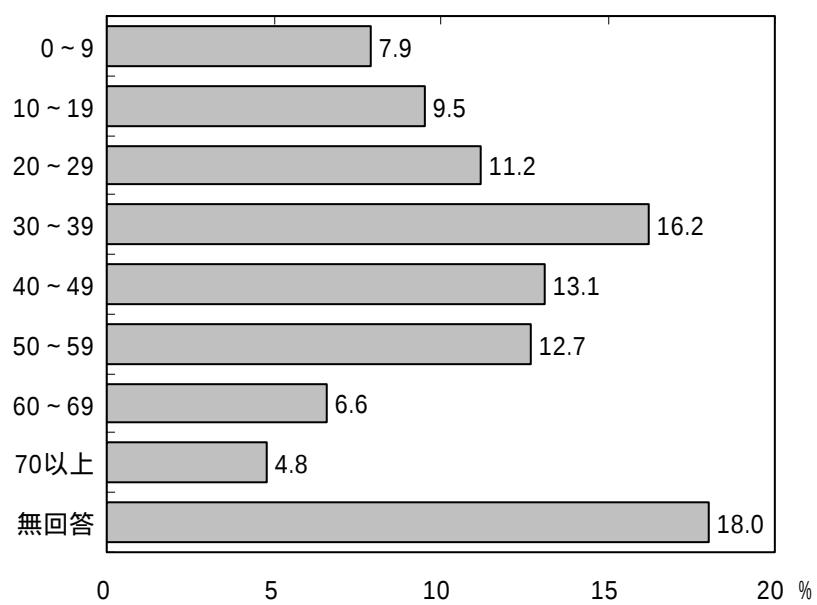
問5 (単数回答) n=685



居住年数については、「30～39 年」が 16.2%と最も多く、次いで「40～49 年」が 13.1%、「50～59 年」が 12.7%となっています。

《居住年数》

問5 (単数回答) n=685

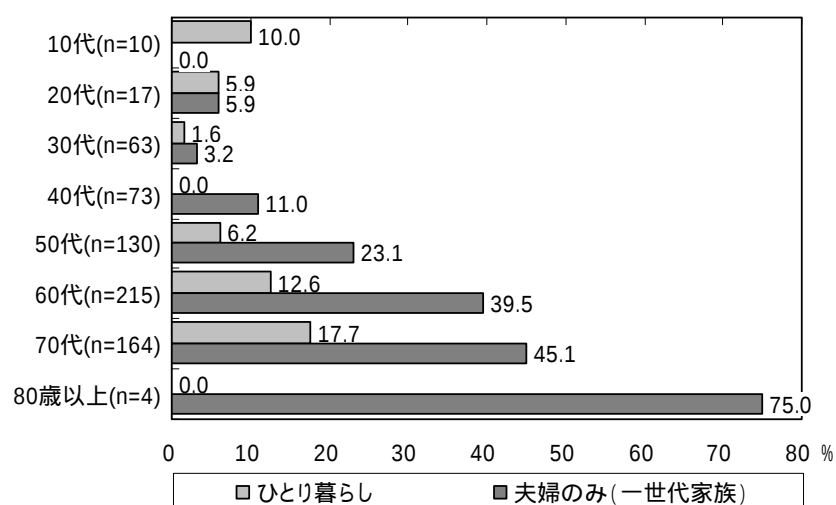
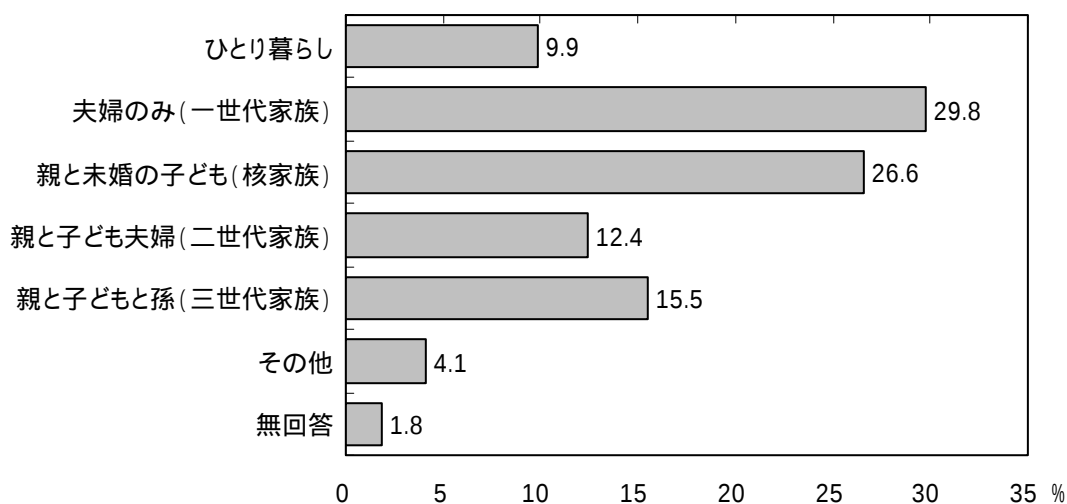


問6 あなたの家族構成はどれにあたりますか。(1つだけに○)

家族構成については、「夫婦のみ(一世帯家族)」が29.8%と最も多く、次いで「親と未婚の子ども(核家族)」が26.6%、「親と子どもと孫(三世帯家族)」が15.5%となっています。

年代別で見ると、「一人暮らし」「夫婦のみ世帯(一世帯家族)」ともに40代以降年代が上がるほど多くなっています。

問6 (単数回答) n=685



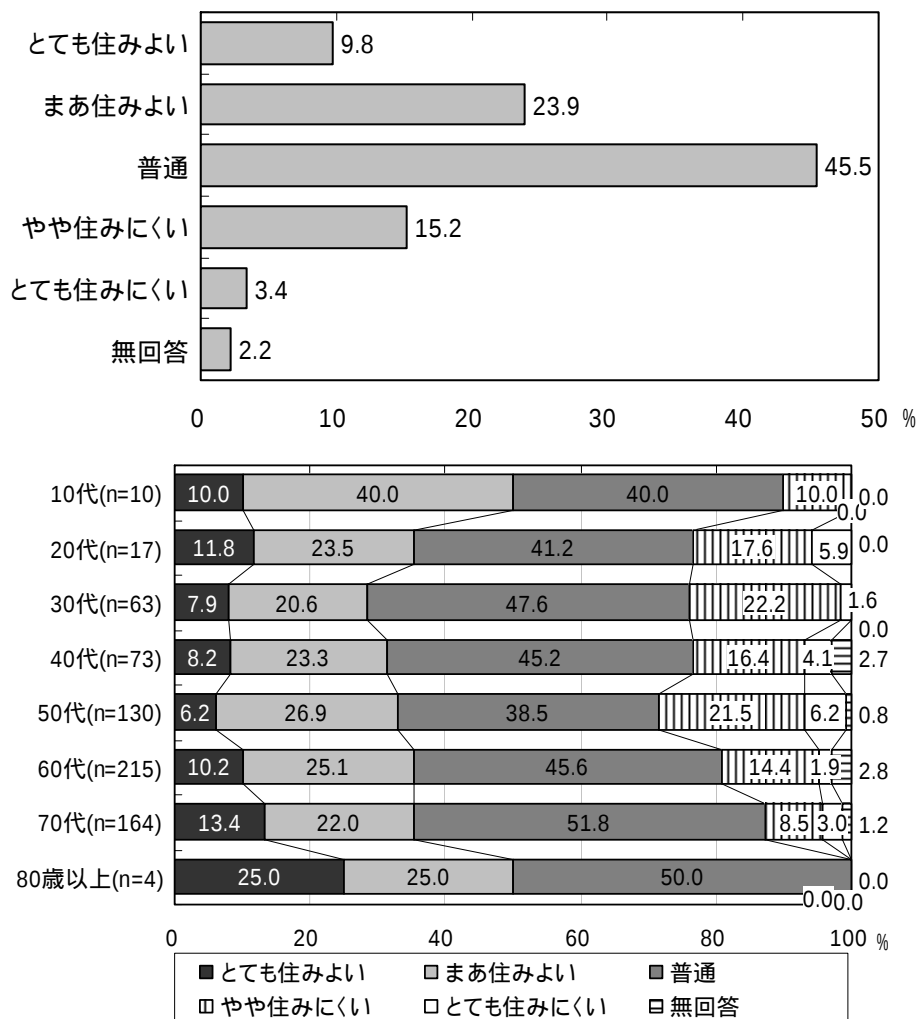
2. 住みやすさや定住意向について

問7 あなたにとって、松崎町は住みよいところですか。（1つだけに○）

住みやすさについては、「普通」が45.5%と最も多く、次いで「まあ住みよい」が23.9%、「やや住みにくい」が15.2%となっています。

年代別で見ると、20代から50代では「やや住みにくい」と「とても住みにくい」を合わせた『住みにくい』が2割を超え多くなっています。

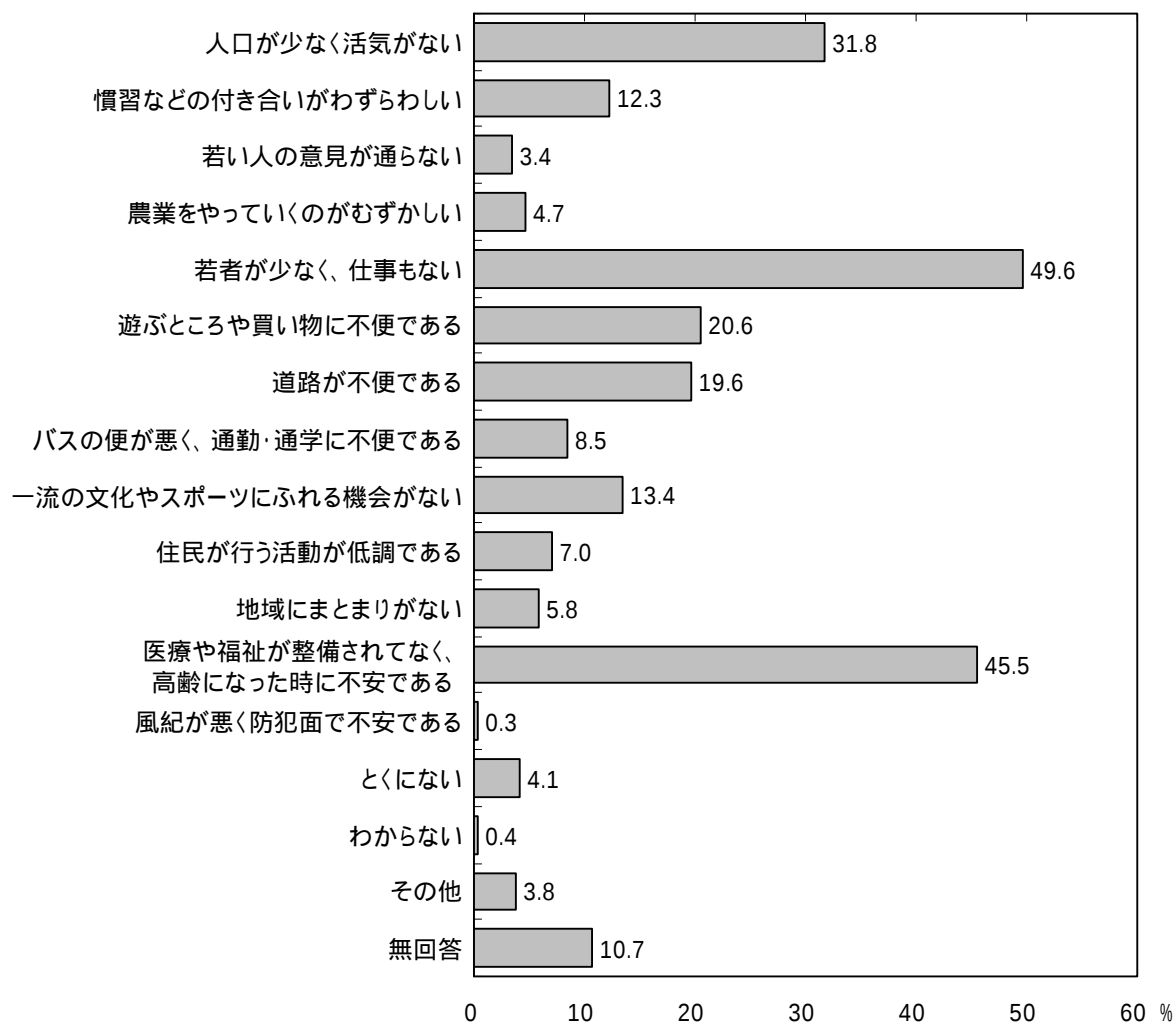
問7 (単数回答) n=685



問8 住みにくいところがあるとすれば、どのようなところですか。(3つまで○)

住みにくいところについては、「若者が少なく、仕事もない」が49.6%と最も多く、次いで「医療や福祉が整備されてなく、高齢になった時に不安である」が45.5%、「人口が少なく活気がない」が31.8%となっています。

問8 (複数回答) n=685



性別で見ると、男性では「人口が少なく活気がない」が約4割と女性より多くなっています。

年代別で見ると、年代により1位回答にばらつきがあり、10代、40代、70代、80歳以上では「若者が少なく、仕事もない」が、20代、30代では「遊ぶところや買い物に不便である」が、50代、60代では「医療や福祉が整備されてなく、高齢になった時に不安である」が最も多くなっています。

住みよさ度別に見ると、住みにくいと回答した層では「慣習などの付き合いがわずらわしい」や「医療や福祉が整備されてなく、高齢になった時に不安である」が他に比べ多くなっています。

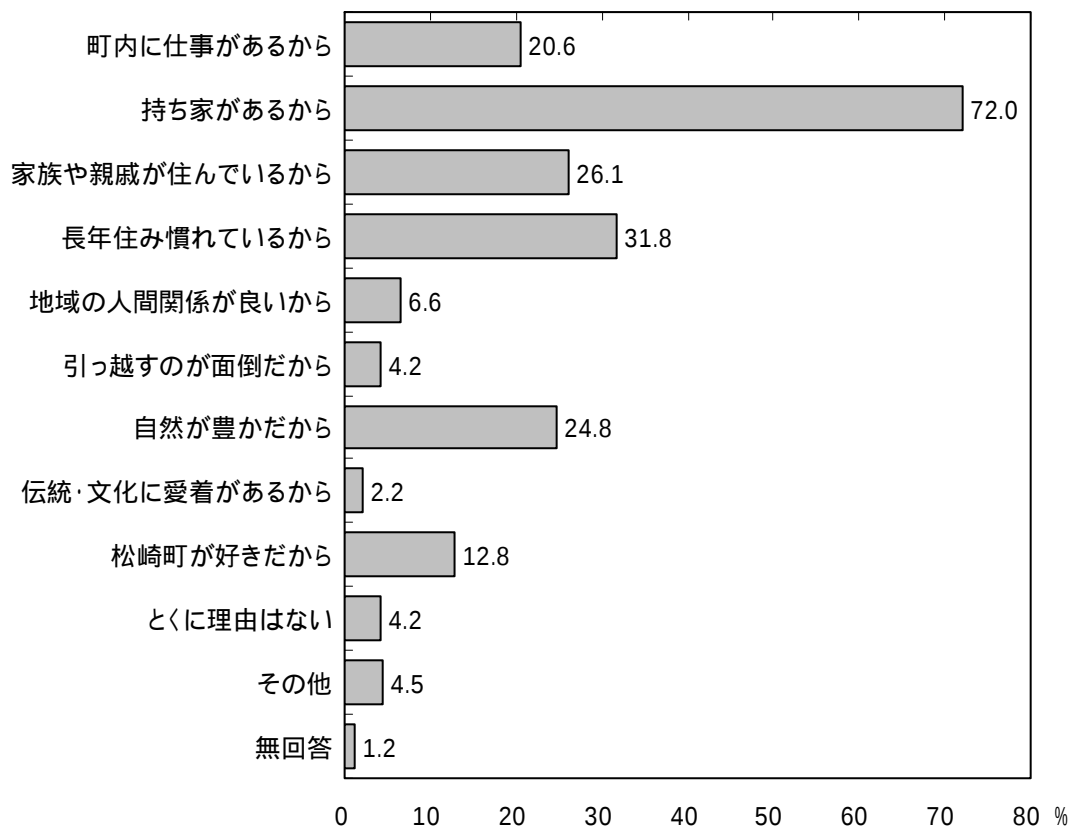
	n	人口が少なく活気がない	慣習などの付き合いがわずらわしい	若い人の意見が通らない	農業をやっているのがむずかしい	若者が少なく、仕事もない	遊ぶところや買い物に不便である	道路が不便である	勤・通学に不便である	一流の文化やスポーツにふれる機会がない	住民が行う活動が低調である	地域にまとまりがない	医療や福祉が整備されてなく、高齢になった時に不安である	安楽死や防犯面で不安である	とくにない	わからない	その他	無回答
男性	301	37.9	11.3	3.3	5.0	52.2	18.3	20.9	7.6	12.3	8.0	6.3	44.9	0.3	4.3	0.7	3.7	10.0
女性	378	27.5	13.2	3.4	4.5	48.1	22.8	18.5	9.3	14.6	6.3	5.6	46.3	0.3	4.0	0.3	4.0	10.3

10代	10	50.0	-	-	-	70.0	60.0	10.0	30.0	10.0	-	-	-	-	10.0	-	10.0	-
20代	17	23.5	23.5	-	-	35.3	76.5	17.6	11.8	11.8	17.6	-	29.4	-	-	-	-	-
30代	63	23.8	19.0	14.3	-	52.4	57.1	31.7	-	15.9	3.2	7.9	38.1	-	1.6	-	6.3	1.6
40代	73	30.1	15.1	4.1	-	57.5	35.6	24.7	15.1	15.1	1.4	5.5	47.9	1.4	2.7	-	2.7	5.5
50代	130	32.3	10.0	0.8	3.1	58.5	13.8	21.5	10.0	15.4	1.5	4.6	61.5	-	3.8	-	4.6	9.2
60代	215	29.3	12.6	3.3	6.0	47.9	14.9	19.1	7.4	14.0	9.8	7.9	48.8	-	4.2	0.9	2.3	12.6
70代	164	39.0	9.1	1.2	8.5	42.1	4.3	12.2	7.9	9.8	11.6	4.9	36.6	0.6	6.1	0.6	4.9	14.6
80歳以上	4	25.0	-	-	25.0	50.0	25.0	50.0	-	25.0	-	-	-	-	-	-	-	25.0
住みよい	231	31.6	8.2	2.2	3.5	51.5	13.4	19.0	8.2	13.0	8.2	3.5	42.9	-	3.9	0.4	3.0	13.9
普通	312	32.7	10.3	3.8	6.7	46.5	21.5	17.9	6.4	12.2	6.1	8.0	41.0	0.6	6.1	0.6	2.9	10.9
住みにくい	127	30.7	26.0	4.7	2.4	55.9	30.7	24.4	14.2	18.9	7.1	4.7	63.8	-	-	-	7.1	0.8

問9 あなたが町内に住み続けている理由は何ですか。(3つまで○)

住み続けている理由については、「持ち家があるから」が72.0%と最も多く、次いで「長年住み慣れているから」が31.8%、「家族や親戚が住んでいるから」が26.1%となっています。

問9 (複数回答) n=685



性別で見ると、男性では「長年住み慣れているから」が女性に比べ多くなっています。

年代別で見ると、10代から30代までは「家族や親戚が住んでいるから」が、40代から70代では「持ち家があるから」が1位回答となっています。

住みよさ度別に見ると、住みよいと回答した層では「自然が豊かだから」や「松崎町が好きだから」が他に比べ多くなっています。

	n	町内に仕事があるから	持ち家があるから	家族や親戚が住んでいるから	長年住み慣れているから	地域の人間関係がよいから	倒壊の危険が面しているから	自然が豊かだから	伝統・文化に愛着があるから	松崎町が好きだから	いづくに理由はない	その他	無回答
男性	301	23.6	72.8	23.6	35.5	5.0	4.3	24.3	2.7	16.6	4.0	5.0	0.3
女性	378	18.5	72.2	28.6	29.1	7.9	4.0	25.7	1.9	10.1	4.5	4.2	0.8
10代	10	10.0	10.0	70.0	-	10.0	-	50.0	-	10.0	10.0	-	-
20代	17	29.4	23.5	52.9	23.5	5.9	11.8	17.6	5.9	17.6	-	-	5.9
30代	63	23.8	47.6	52.4	14.3	3.2	9.5	25.4	1.6	7.9	9.5	6.3	-
40代	73	26.0	53.4	42.5	11.0	8.2	5.5	8.2	-	15.1	6.8	5.5	1.4
50代	130	32.3	73.1	23.8	30.0	4.6	3.8	27.7	2.3	14.6	3.1	4.6	-
60代	215	22.3	81.9	17.2	35.3	7.9	2.3	25.6	2.8	13.5	3.3	4.7	-
70代	164	6.1	86.6	17.1	46.3	7.3	4.3	29.3	1.8	11.6	3.0	4.3	1.2
80歳以上	4	-	75.0	75.0	100.0	-	-	-	25.0	25.0	-	-	-
住みよい	231	21.6	70.1	28.6	32.9	10.8	2.6	34.2	5.2	22.9	1.3	3.0	-
普通	312	20.2	75.6	26.3	34.3	5.4	3.8	23.1	1.0	9.6	4.2	3.5	0.3
住みにくい	127	21.3	70.1	22.8	25.2	0.8	8.7	13.4	-	3.9	10.2	10.2	0.8

問10 あなたは、これからも松崎町に住み続けたいとお考えですか。

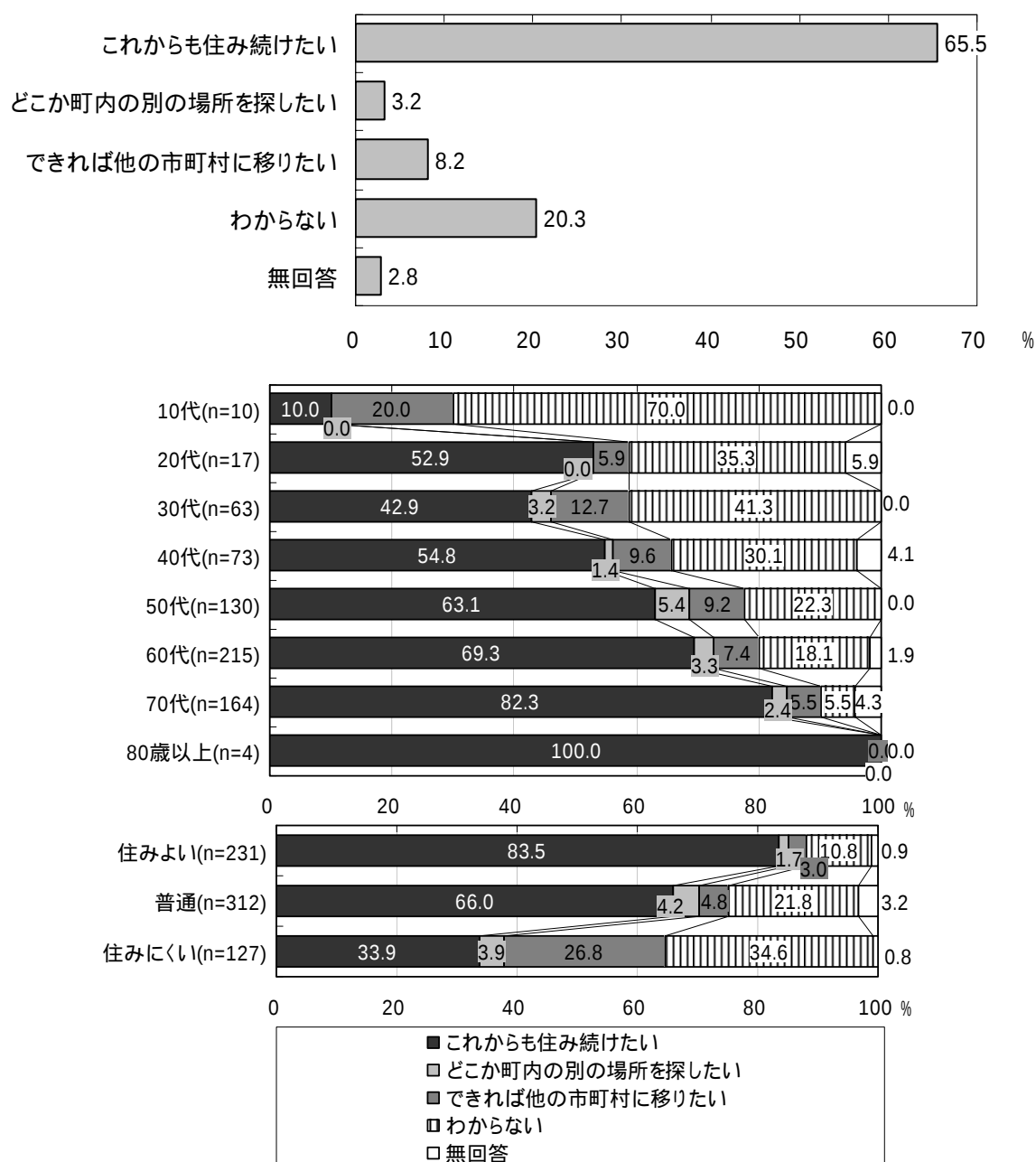
(1つだけに○)

住み続ける意向については、「これからも住み続けたい」が65.5%と最も多く、次いで「わからない」が20.3%、「できれば他の市町村に移りたい」が8.2%となっています。

年代別で見ると、30代以降年代が上がるほど「これからも住み続けたい」が多くなっています。

住みよさ度別に見ると、住みよいと回答した層では「これからも住み続けたい」が8割を超えているのに対し、住みにくいと回答した層では「できれば他の市町村に移りたい」が2割を超え多くなっています。

問10 (単数回答) n=685



3. 町の取り組みに対する満足度・重要度について

問11 松崎町の第4次総合計画の取り組みについて、どのくらい満足していますか。

また、今後どのくらい重要だとお考えですか。

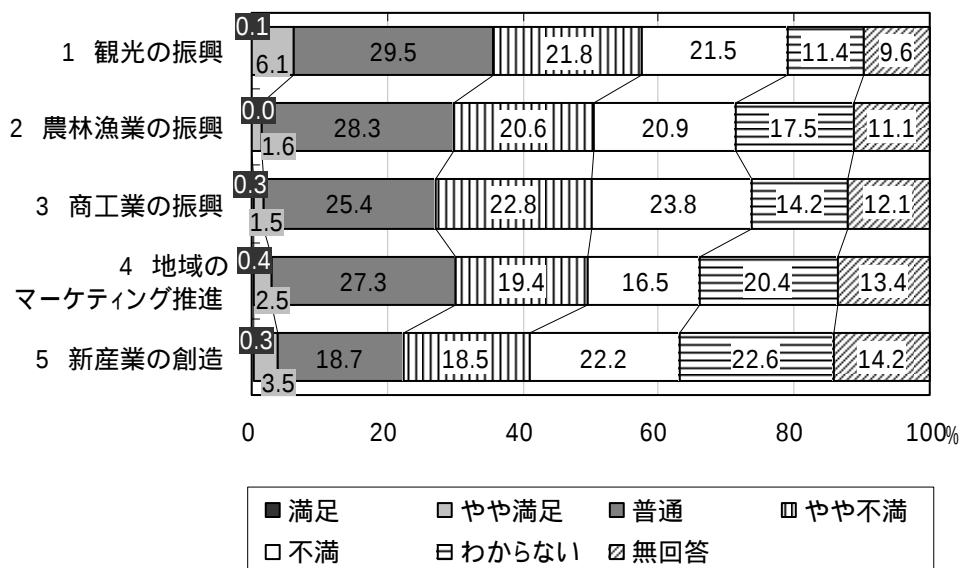
(各項目について、それぞれ1つずつに○)

活力ある産業づくり

活力ある産業づくりの満足度について、「満足」「やや満足」を合わせて『満足』を見ると、「1 観光の振興」が6.2%と最も多く、次いで「5 新産業の創造」が3.8%、「4 地域のマーケティング推進」が2.9%となっています。「不満」「やや不満」を合わせて『不満』を見ると、「3 商工業の振興」が46.6%と最も多く、次いで「1 観光の振興」が43.3%、「2 農林漁業の振興」が41.5%となっています。各項目において『不満』が『満足』を上回る傾向となっています。

《満足度》

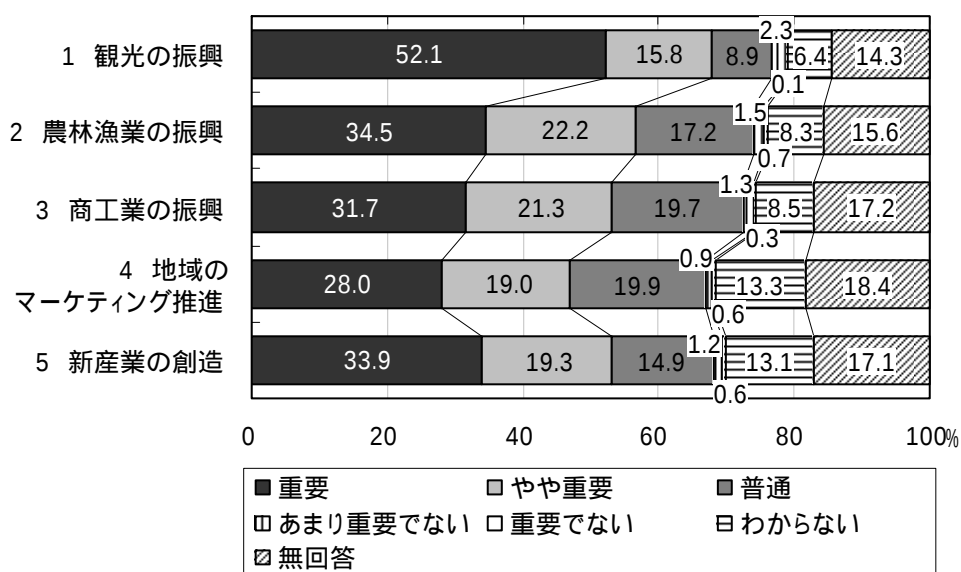
総合計画の取り組み満足度(n=685)



活力ある産業づくりの重要度について、「重要」「やや重要」を合わせて『重要』を見ると、「1 観光の振興」が67.9%と最も多く、次いで「2 農林漁業の振興」が56.7%、「5 新産業の創造」が53.2%となっています。「重要でない」「あまり重要でない」を合わせて『重要でない』を見ると、「1 観光の振興」が2.4%と最も多く、次いで「2 農林漁業の振興」が2.2%、「5 新産業の創造」が1.8%となっています。各項目において『重要』が『重要でない』を上回る傾向となっています。

《重要度》

総合計画の取り組み重要度 (n=685)

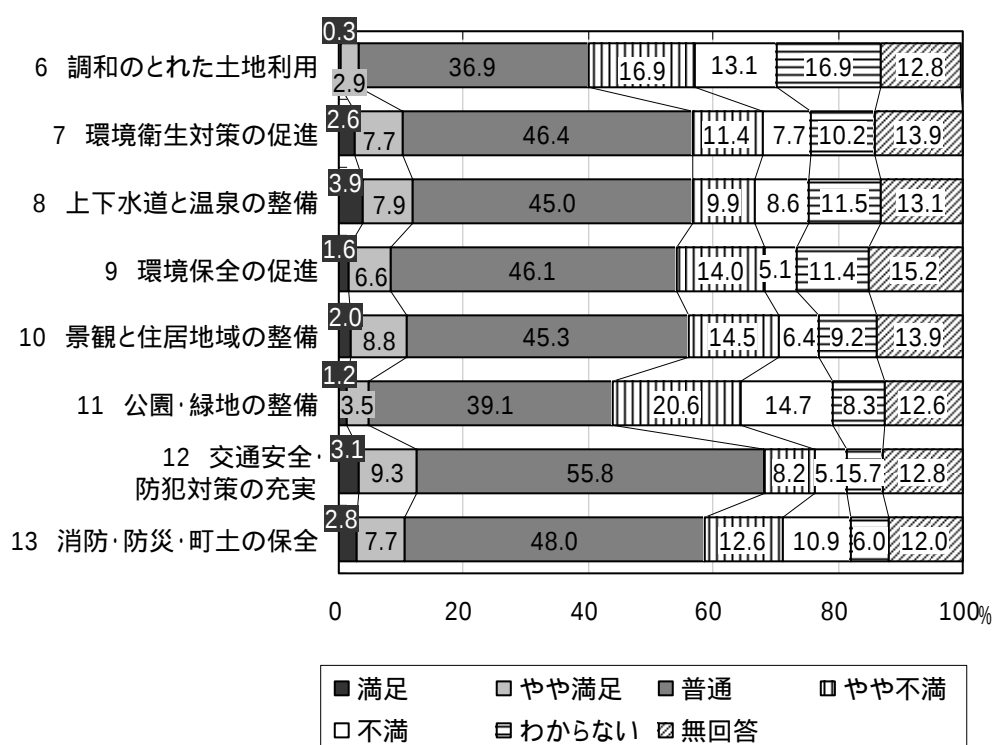


安全で快適な居住環境づくり

安全で快適な居住環境づくりの満足度について、「満足」「やや満足」を合わせて『満足』を見ると、「12 交通安全・防犯対策の充実」が12.4%と最も多く、次いで「8 上下水道と温泉の整備」が11.8%、「10 景観と住居地域の整備」が10.8%となっています。「不満」「やや不満」を合わせて『不満』を見ると、「11 公園・緑地の整備」が35.3%と最も多く、次いで「6 調和のとれた土地利用」が30.0%、「13 消防・防災・町土の保全」が23.5%となっています。各項目において『不満』が『満足』を上回る傾向となっています。

《満足度》

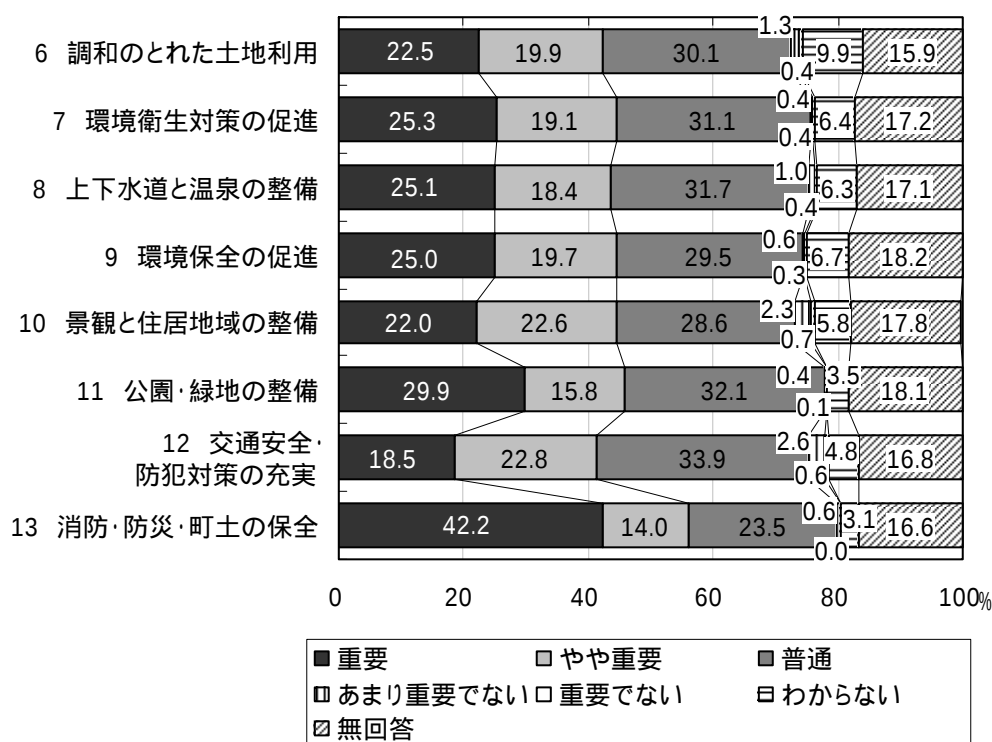
総合計画の取り組み満足度 (n=685)



安全で快適な居住環境づくりの重要度について、「重要」「やや重要」を合わせて『重要』を見ると、「13 消防・防災・町土の保全」が56.2%と最も多く、次いで「11 公園・緑地の整備」が45.7%、「9 環境保全の促進」が44.7%となっています。「重要でない」「あまり重要でない」を合わせて『重要でない』を見ると、「12 交通安全・防犯対策の充実」が3.2%と最も多く、次いで「6 調和のとれた土地利用」が1.7%、「8 上下水道と温泉の整備」が1.4%となっています。各項目において『重要』が『重要でない』を上回る傾向となっています。

《重要度》

総合計画の取り組み重要度 (n=685)

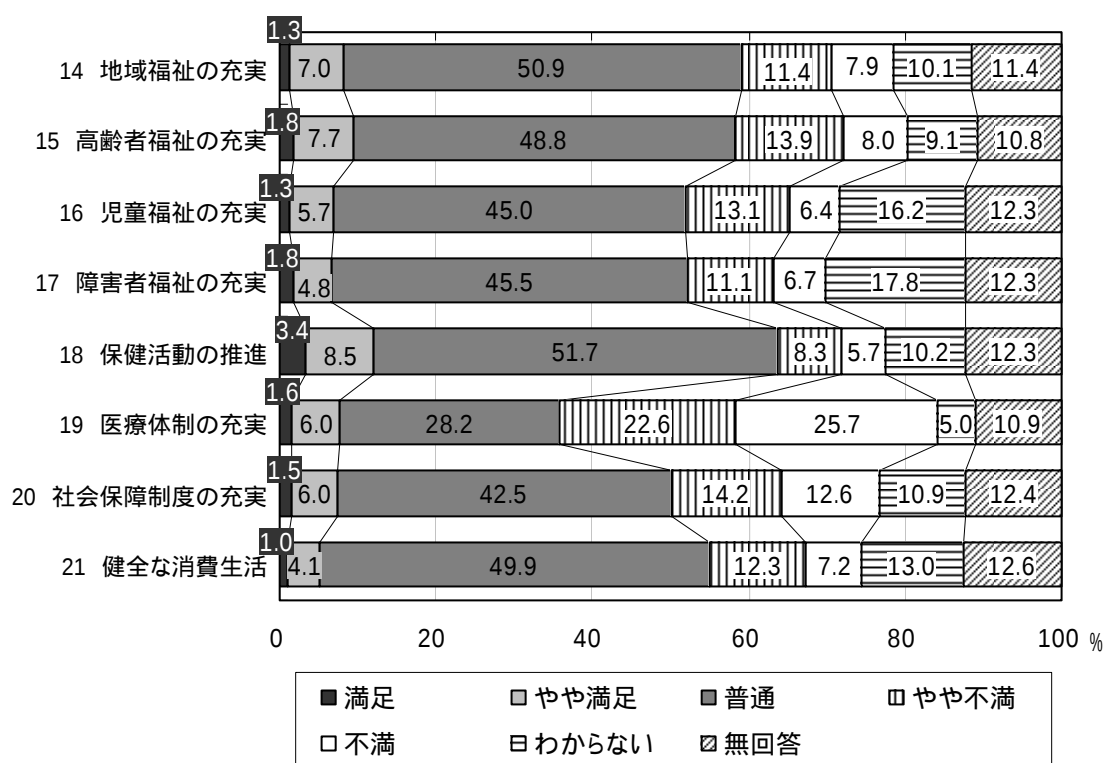


やさしさのある健康と福祉づくり

やさしさのある健康と福祉づくりの満足度について、「満足」「やや満足」を合わせて『満足』を見ると、「18 保健活動の推進」が11.9%と最も多く、次いで「15 高齢者福祉の充実」が9.5%、「14 地域福祉の充実」が8.3%となっています。「不満」「やや不満」を合わせて『不満』を見ると、「19 医療体制の充実」が48.3%と最も多く、次いで「20 社会保障制度の充実」が26.8%、「15 高齢者福祉の充実」が21.9%となっています。各項目において『不満』が『満足』を上回る傾向となっています。

《満足度》

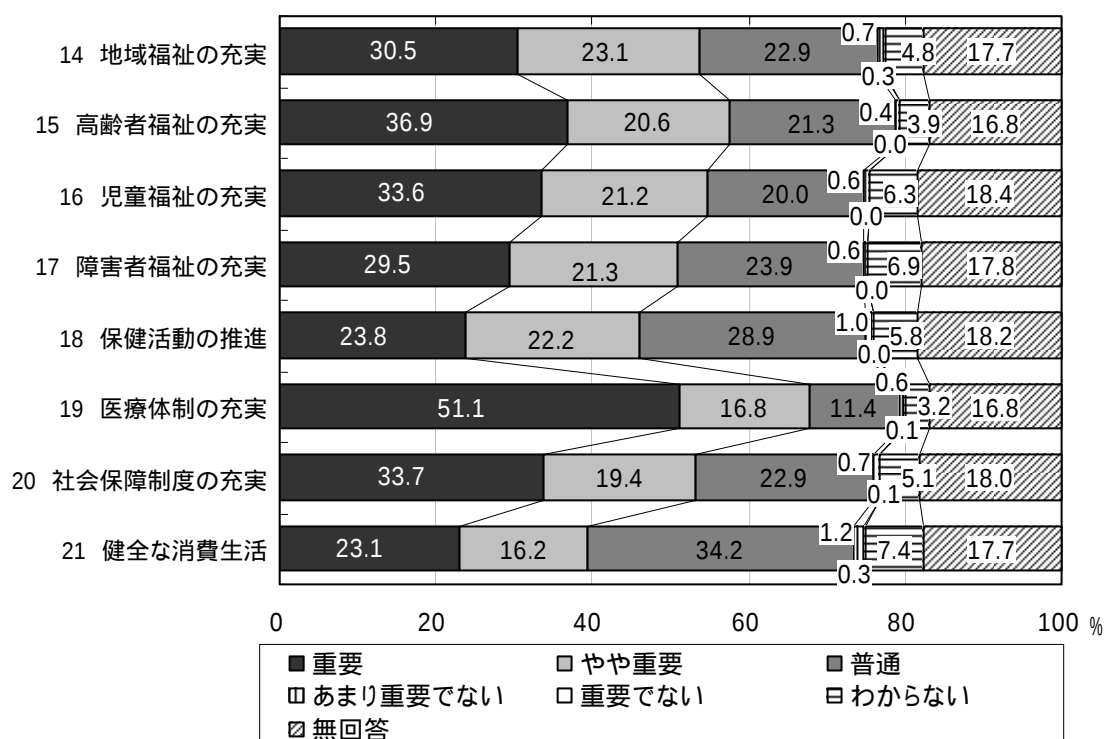
総合計画の取り組み満足度 (n=685)



やさしさのある健康と福祉づくりの重要度について、「重要」「やや重要」を合わせて『重要』を見ると、「19 医療体制の充実」が67.9%と最も多く、次いで「15 高齢者福祉の充実」が57.5%、「16 児童福祉の充実」が54.8%となっています。「重要でない」「あまり重要でない」を合わせて『重要でない』を見ると、「21 健全な消費生活」が1.5%と最も多く、次いで「14 地域福祉の充実・18 保健活動の推進」がそれぞれ1.0%、となっています。各項目において『重要』が『重要でない』を上回る傾向となっています。

《重要度》

総合計画の取り組み重要度 (n=685)

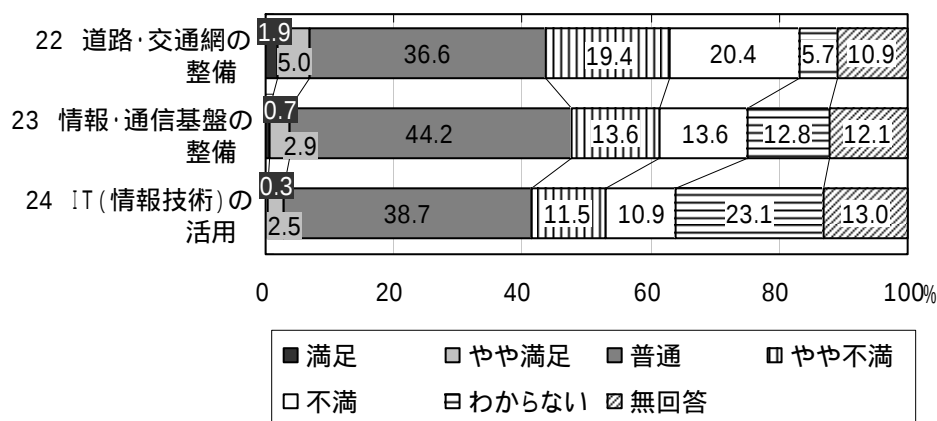


交通・情報ネットワークづくり

交通・情報ネットワークづくりの満足度について、「満足」「やや満足」を合わせて『満足』を見ると、「22 道路・交通網の整備」が6.9%と最も多く、次いで「23 情報・通信基盤の整備」が3.6%、「24 IT(情報技術)の活用」が2.8%となっています。「不満」「やや不満」を合わせて『不満』を見ると、「22 道路・交通網の整備」が39.8%と最も多く、次いで「23 情報・通信基盤の整備」が27.2%、「24 IT(情報技術)の活用」が22.4%となっています。各項目において『不満』が『満足』を上回る傾向となっています。

《満足度》

総合計画の取り組み満足度 (n=685)

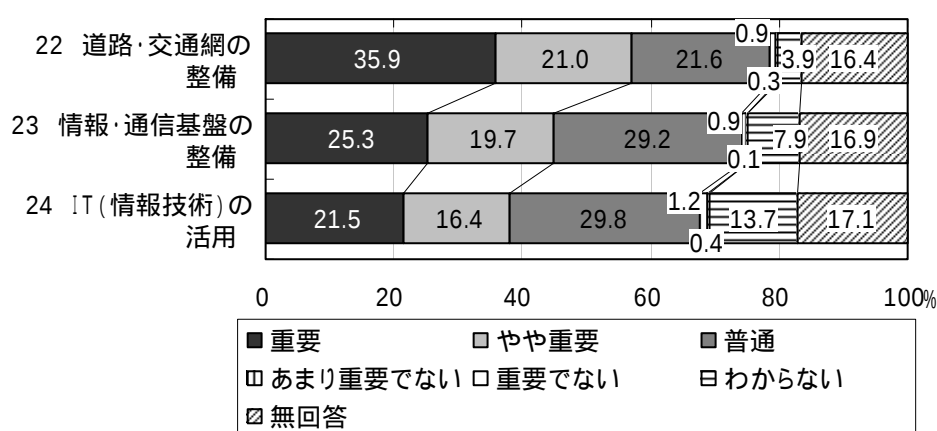


交通・情報ネットワークづくりの重要度について、「重要」「やや重要」を合わせて『重要』を見ると、「22 道路・交通網の整備」が56.9%と最も多く、次いで「23 情報・通信基盤の整備」が45.0%、「24 IT(情報技術)の活用」が37.9%となっています。

「重要でない」「あまり重要でない」を合わせて『重要でない』を見ると、「24 IT(情報技術)の活用」が1.6%と最も多く、次いで「22 道路・交通網の整備」が1.2%、「23 情報・通信基盤の整備」が1.0%となっています。各項目において『重要』が『重要でない』を上回る傾向となっています。

《重要度》

総合計画の取り組み重要度 (n=685)

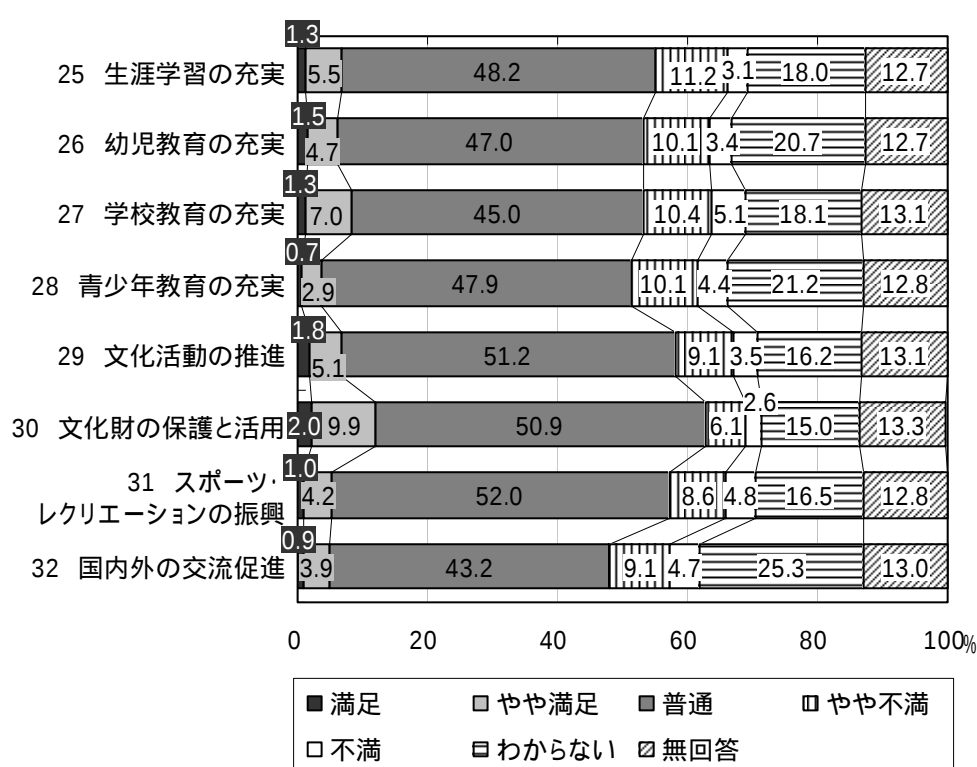


未来に向けた人づくり

未来に向けた人づくりの満足度について、「満足」「やや満足」を合わせて『満足』を見ると、「30 文化財の保護と活用」が11.9%と最も多く、次いで「27 学校教育の充実」が8.3%、「29 文化活動の推進」が6.9%となっています。「不満」「やや不満」を合わせて『不満』を見ると、「27 学校教育の充実」が15.5%と最も多く、次いで「28 青少年教育の充実」が14.5%、「25 生涯学習の充実」が14.3%となっています。各項目において『不満』が『満足』を上回る傾向となっています。

《満足度》

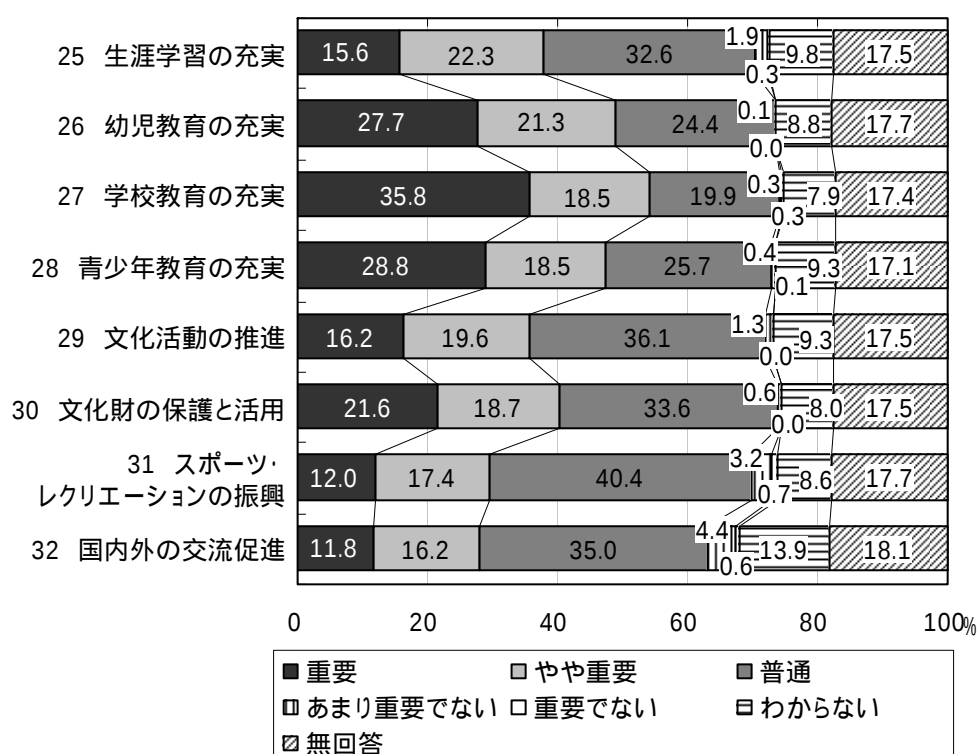
総合計画の取り組み満足度 (n=685)



未来に向けた人づくりの重要度について、「重要」「やや重要」を合わせて『重要』を見ると、「27 学校教育の充実」が54.3%と最も多く、次いで「26 幼児教育の充実」が49.0%、「28 青少年教育の充実」が47.3%となっています。「重要でない」「あまり重要でない」を合わせて『重要でない』を見ると、「32 国内外の交流促進」が5.0%と最も多く、次いで「31 スポーツ・レクリエーションの振興」が3.9%、「25 生涯学習の充実」が2.2%となっています。各項目において『重要』が『重要でない』を上回る傾向となっています。

《重要度》

総合計画の取り組み重要度 (n=685)

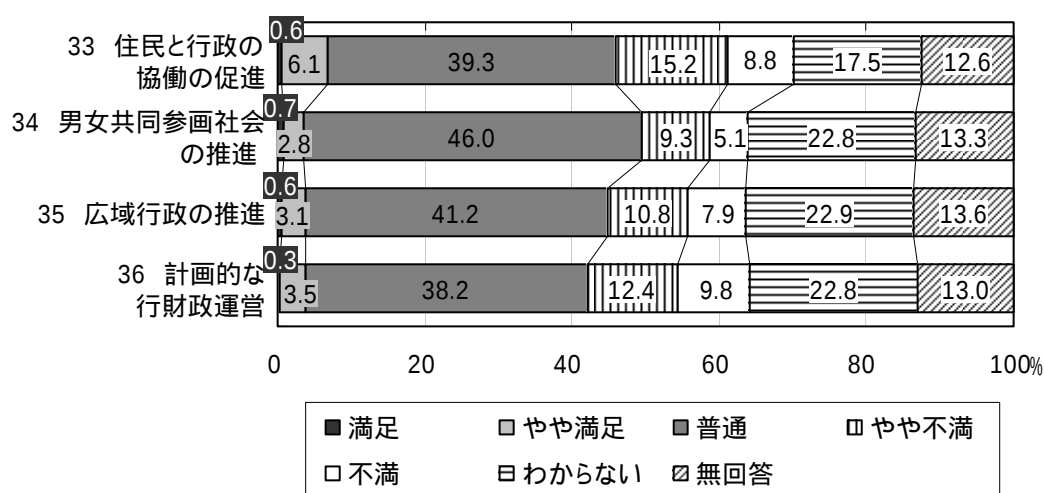


みんなが創るまちづくり

みんなが創るまちづくりの満足度について、「満足」「やや満足」を合わせて『満足』を見ると、「33 住民と行政の協働の促進」が6.7%と最も多く、次いで「36 計画的な行財政運営」が3.8%、「35 広域行政の推進」が3.7%となっています。「不満」「やや不満」を合わせて『不満』を見ると、「33 住民と行政の協働の促進」が24.0%と最も多く、次いで「36 計画的な行財政運営」が22.2%、「35 広域行政の推進」が18.7%となっています。各項目において『不満』が『満足』を上回る傾向となっています。

《満足度》

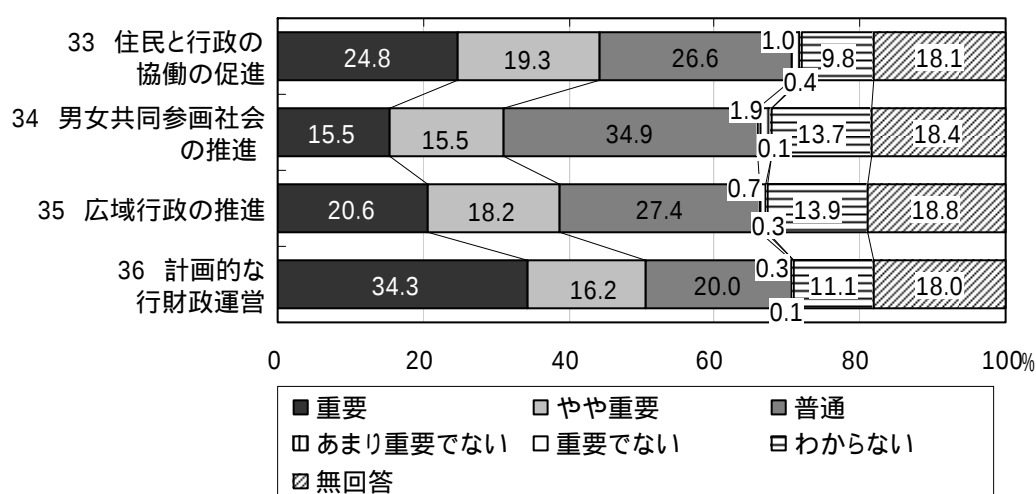
総合計画の取り組み満足度 (n=685)



みんなが創るまちづくりの重要度について、「重要」「やや重要」を合わせて『重要』を見ると、「36 計画的な行財政運営」が50.5%と最も多く、次いで「33 住民と行政の協働の促進」が44.1%、「35 広域行政の推進」が38.8%となっています。「重要でない」「あまり重要でない」を合わせて『重要でない』を見ると、「34 男女共同参画社会の推進」が2.0%と最も多く、次いで「33 住民と行政の協働の促進」が1.4%、「35 広域行政の推進」が1.0%となっています。各項目において『重要』が『重要でない』を上回る傾向となっています。

《重要度》

総合計画の取り組み重要度 (n=685)



施策の満足度や重要度について、「満足」から「不満」、「重要」から「重要でない」までそれぞれ5段階で評価してもらい、その結果を加重平均によって点数化しました。

加重平均値の求め方は以下の式の通りです。点数が高いものほど満足あるいは重要と感じており、反対に点数が低ければ満足していないあるいは重要ではないと感じていることとなります。

■ 満足度

$$\text{点} = \frac{\begin{aligned} & \text{「満足」} \times 2 \text{点} + \text{「やや満足」} \times 1 \text{点} + \text{「普通」} \times 0 \text{点} \\ & + \text{「やや不満」} \times -1 \text{点} + \text{「不満」} \times -2 \text{点} \end{aligned}}{\text{回答者総数} - \text{「わからない」} - \text{無回答者数}}$$

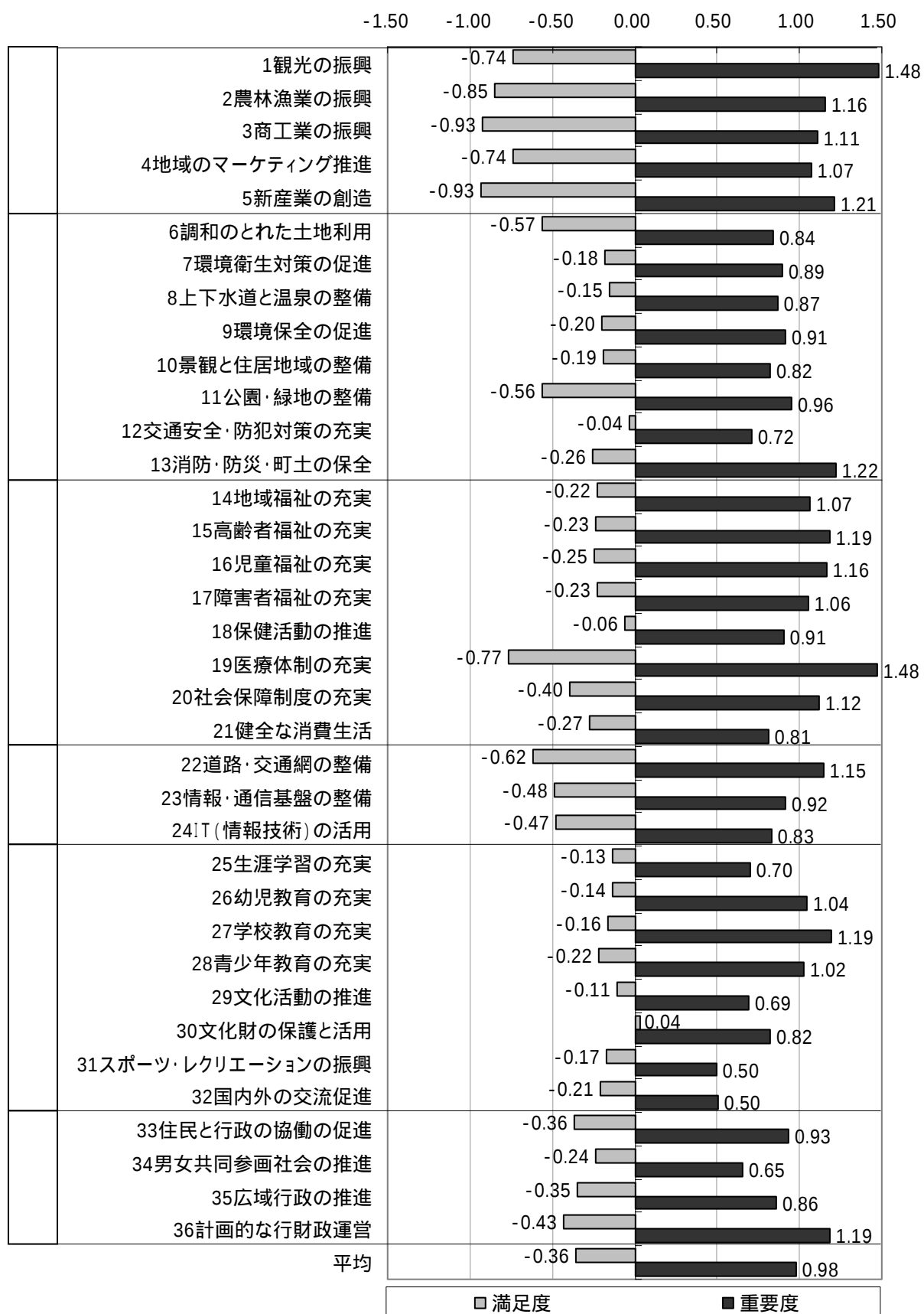
上位5項目		下位5項目	
30 文化財の保護と活用	0.04	5 新産業の創造	-0.93
12 交通安全・防犯対策の充実	-0.04	3 商工業の振興	-0.93
18 保健活動の推進	-0.06	2 農林漁業の振興	-0.85
29 文化活動の推進	-0.11	19 医療体制の充実	-0.77
25 生涯学習の充実	-0.13	4 地域のマーケティング推進	-0.74

■ 重要度

$$\text{点} = \frac{\begin{aligned} & \text{「重要」} \times 2 \text{点} + \text{「やや重要」} \times 1 \text{点} + \text{「普通」} \times 0 \text{点} \\ & + \text{「あまり重要でない」} \times -1 \text{点} + \text{「重要でない」} \times -2 \text{点} \end{aligned}}{\text{回答者総数} - \text{「わからない」} - \text{無回答者数}}$$

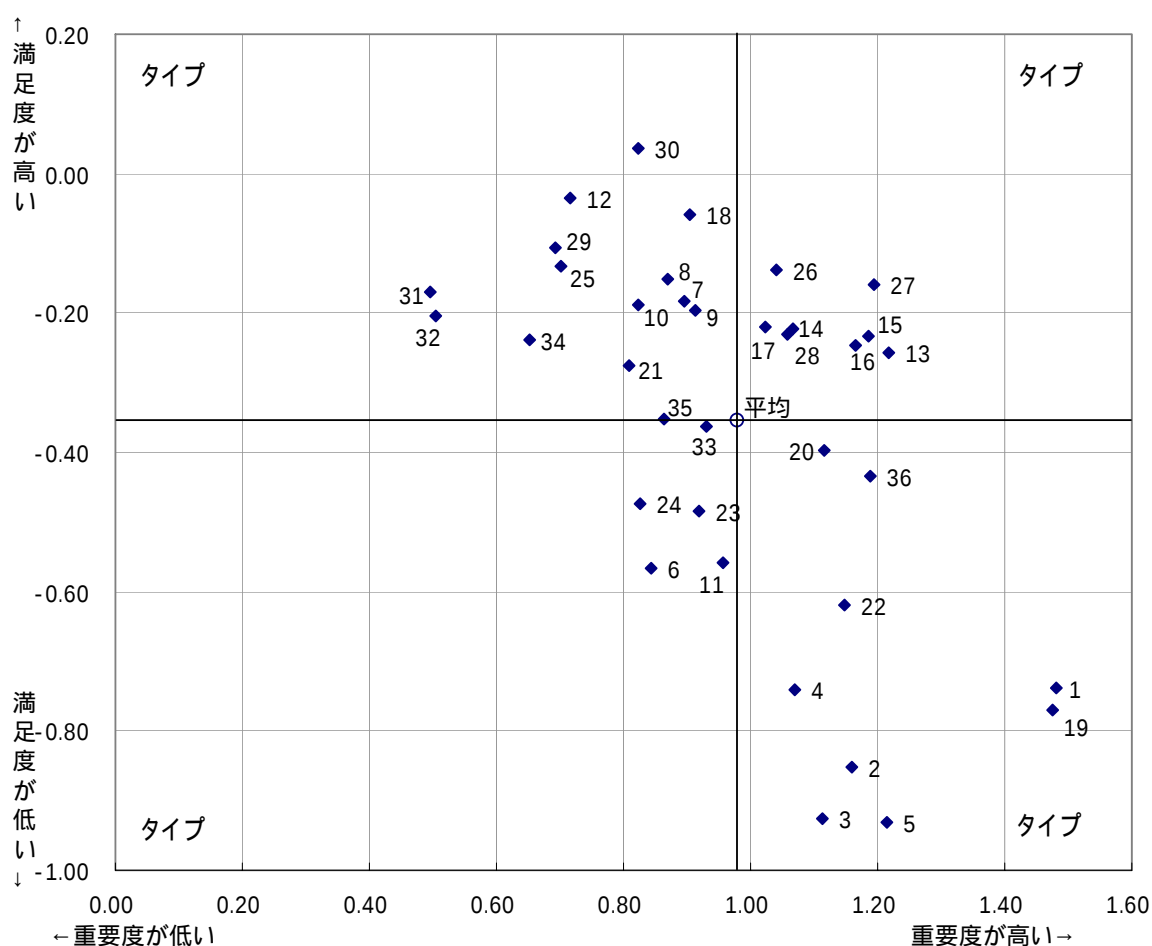
上位5項目		下位5項目	
1 観光の振興	1.48	31 スポーツ・レクリエーションの振興	0.50
19 医療体制の充実	1.48	32 国内外の交流促進	0.50
13 消防・防災・町土の保全	1.22	34 男女共同参画社会の推進	0.65
5 新産業の創造	1.21	29 文化活動の推進	0.69
27 学校教育の充実	1.19	25 生涯学習の充実	0.70

各項目の満足度、重要度については、下記の通りです。



加重平均値化した結果を散布図に落とし込むと以下の通りです。また、満足度の平均値と重要度の平均値を中心として散布図を4つの象限に分けた場合、相対的な評価として以下の4つのカテゴリーに施策が分類されます。

分類	考え方
タイプ	重要度が高く、満足度は低いため、今後優先してサービスの質・量を高めていくべき項目
タイプ	重要度が高く、満足度も高いため、サービスの質の維持を図るべき項目
タイプ	重要度が低く、満足度は高いため、他の取り組みを優先しつつ、サービスの質の維持を図るべき項目
タイプ	重要度が低く、満足度も低いため、他の取り組みを優先しつつ、サービスの質を高めるべき項目



各タイプ別の施策は以下のとおりです。

タイプ 重要度が高く、満足度は低いため、今後優先してサービスの質・量を高めていくべき項目		
	1 観光の振興 ()	19 医療体制の充実 ()
	2 農林漁業の振興 ()	20 社会保障制度の充実 ()
	3 商工業の振興 ()	22 道路・交通網の整備 ()
	4 地域のマーケティング推進 ()	36 計画的な行財政運営 ()
	5 新産業の創造 ()	
タイプ 重要度が高く、満足度も高いため、サービスの質の維持を図るべき項目		
	13 消防・防災・町土の保全 ()	17 障害者福祉の充実 ()
	14 地域福祉の充実 ()	26 幼児教育の充実 ()
	15 高齢者福祉の充実 ()	27 学校教育の充実 ()
	16 児童福祉の充実 ()	28 青少年教育の充実 ()
タイプ 重要度が低く、満足度は高いため、他の取り組みを優先しつつ、サービスの質の維持を図るべき項目		
	7 環境衛生対策の促進 ()	25 生涯学習の充実 ()
	8 上下水道と温泉の整備 ()	29 文化活動の推進 ()
	9 環境保全の促進 ()	30 文化財の保護と活用 ()
	10 景観と住居地域の整備 ()	31 スポーツ・レクリエーションの振興 ()
	12 交通安全・防犯対策の充実 ()	32 国内外の交流促進 ()
	18 保健活動の推進 ()	34 男女共同参画社会の推進 ()
	21 健全な消費生活 ()	35 広域行政の推進 ()
タイプ 重要度が低く、満足度も低いため、他の取り組みを優先しつつ、サービスの質を高めるべき項目		
	6 調和のとれた土地利用 ()	24 IT(情報技術)の活用 ()
	11 公園・緑地の整備 ()	33 住民と行政の協働の促進 ()
	23 情報・通信基盤の整備 ()	

	タイプ 重要度高く 満足度低い	タイプ 重要度高く 満足度高い	タイプ 重要度低く 満足度高い	タイプ 重要度低く 満足度低い
活力ある産業づくり	5	-	-	-
安全で快適な居住環境づくり	-	1	5	2
やさしさのある健康と福祉づくり	2	4	2	-
交通・情報ネットワークづくり	1	-	-	2
未来に向けた人づくり	-	3	5	-
みんなが創るまちづくり	1	-	2	1

4．まちの活力づくりについて

【定住対策】

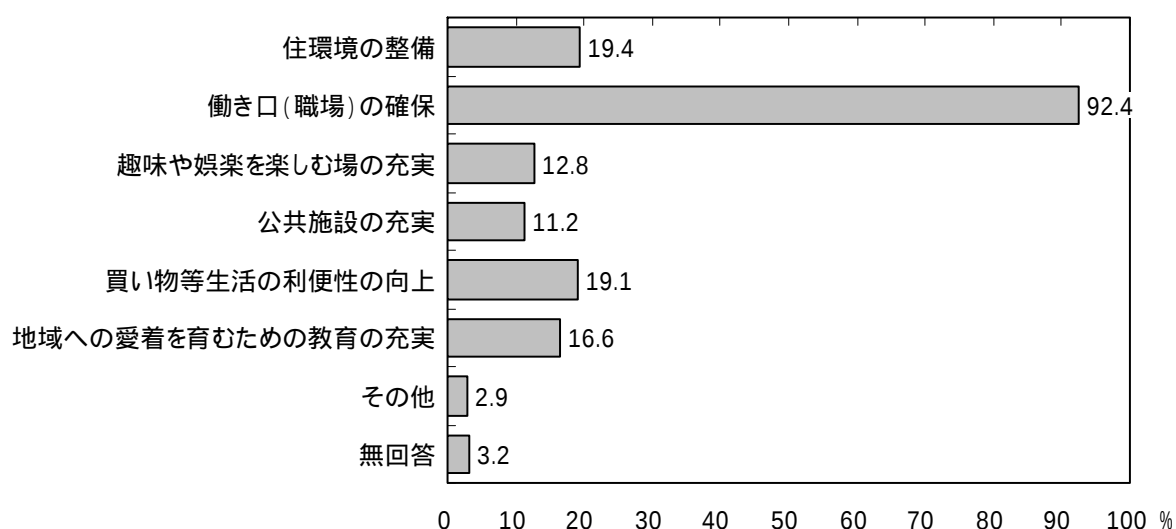
問 1 2 松崎町に若者が定住するために、何が特に重要と考えますか。(2 つまで。)

若者の定住対策については、「働き口(職場)の確保」が 92.4%と最も多く、次いで「住環境の整備」が 19.4%、「買い物等生活の利便性の向上」が 19.1%となっています。

年代別で見ると、20 代では「趣味や娯楽を楽しむ場の充実」が約 5 割と多い他、60 代、70 代では「地域への愛着を育むための教育の充実」が約 2 割と多くなっています。

住みよさ度別に見ると、住みにくいと回答した層では「買い物等生活の利便性の向上」が他に比べ多くなっています。

問12 (複数回答) n=685



	n	住環境の整備	働き口(職場)の確保	趣味や娯楽を楽しむ場の充実	公共施設の充実	買い物等生活の利便性の向上	地域への愛着を育むための教育の充実	その他	無回答
10代	10	20.0	80.0	10.0	-	40.0	10.0	10.0	10.0
20代	17	5.9	94.1	47.1	11.8	29.4	-	-	-
30代	63	17.5	93.7	25.4	11.1	33.3	12.7	-	-
40代	73	26.0	94.5	15.1	9.6	27.4	2.7	4.1	1.4
50代	130	20.8	94.6	9.2	7.7	23.8	13.1	7.7	1.5
60代	215	17.2	94.4	12.1	11.2	14.9	20.9	1.9	3.7
70代	164	20.7	87.8	8.5	14.6	9.1	25.0	0.6	4.9
80歳以上	4	25.0	100.0	-	25.0	25.0	-	25.0	-
住みよい	231	19.0	91.8	13.4	9.5	14.7	20.8	1.7	2.6
普通	312	19.6	93.3	13.5	11.5	19.6	16.3	2.9	2.6
住みにくい	127	18.9	94.5	10.2	13.4	26.8	11.0	5.5	3.9

【子育て環境】

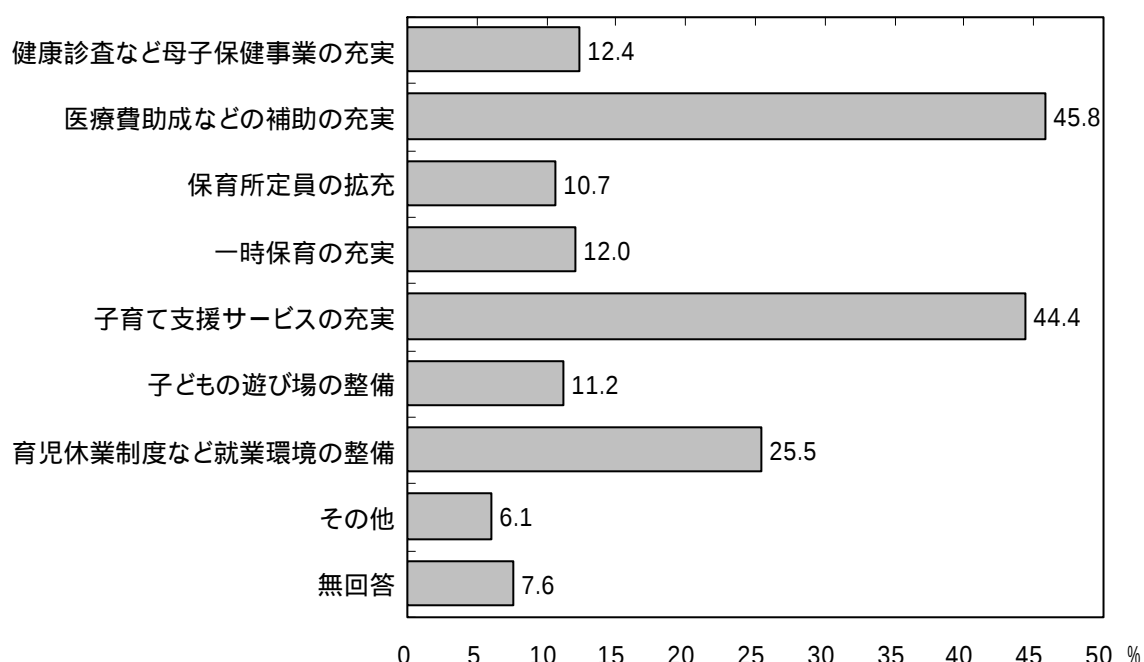
問13 少子化に対応するために、何が特に重要と考えますか。(2つまで。)

子育て環境については、「医療費助成などの補助の充実」が45.8%と最も多く、次いで「子育て支援サービスの充実」が44.4%、「育児休業制度など就業環境の整備」が25.5%となっています。

年代別で見ると、1位回答は年代によりばらつきがあり、30代、40代、50代、70代では「医療費助成などの補助の充実」が、10代、20代、60代、80歳以上では「子育て支援サービスの充実」が最も多くなっています。

住みよさ度別に見ると、住みよいと普通と回答した層では「子育て支援サービスの充実」が多くなっています。

問13 (複数回答) n=685



	n	母子保健事業の充実	健康診査など	医療費助成などの補助の充実	保育所定員の拡充	一時保育の充実	子育て支援サービスの充実	子どもの遊び場の整備	育児休業制度など就業環境の整備	その他	無回答
10代	10	20.0	30.0	30.0	10.0	60.0	30.0	-	-	10.0	-
20代	17	17.6	29.4	-	11.8	47.1	23.5	23.5	17.6	-	-
30代	63	9.5	57.1	9.5	22.2	44.4	25.4	17.5	6.3	1.6	-
40代	73	13.7	54.8	8.2	9.6	37.0	8.2	32.9	8.2	2.7	-
50代	130	10.8	47.7	12.3	9.2	43.8	5.4	32.3	10.8	3.8	-
60代	215	7.9	44.2	12.6	14.0	48.8	9.8	27.4	5.1	6.5	-
70代	164	19.5	42.1	8.5	9.8	41.5	8.5	20.7	2.4	16.5	-
80歳以上	4	25.0	25.0	25.0	-	50.0	25.0	25.0	-	-	-
住みよい	231	10.4	46.8	8.7	13.0	47.6	10.4	28.1	4.3	6.9	-
普通	312	14.1	47.1	12.2	10.9	44.6	10.6	23.7	5.8	6.7	-
住みにくい	127	12.6	40.9	10.2	14.2	38.6	12.6	27.6	10.2	8.7	-

【高齢化対策】

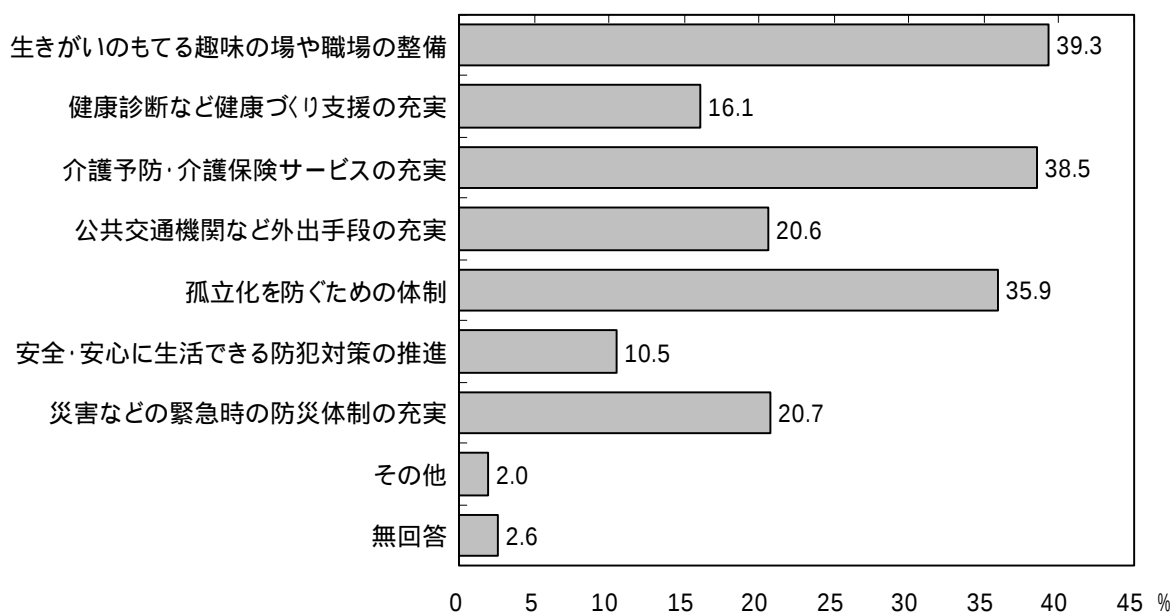
問 1 4 松崎町が高齢者にいきいきと生活してもらえるまちになるために、何が特に重要と考えますか。(2 つまで。)

高齢化対策については、「生きがいのもてる趣味の場や職場の整備」が 39.3%と最も多く、次いで「介護予防・介護保険サービスの充実」が 38.5%、35.9%となっています。

年代別で見ると、1 位回答は年代によりばらつきがあり、20 代、30 代、40 代、70 代、80 歳以上では「生きがいのもてる趣味の場や職場の整備」が、10 代、50 代、60 代では「孤立化を防ぐための体制」が最も多くなっています。

住みよさ度別に見ると、住みよいと回答した層では「生きがいのもてる趣味の場や職場の整備」や「孤立化を防ぐための体制」が多く、住みにくいと回答した層では「介護予防・介護保険サービスの充実」が多くなっています。

問14 (複数回答) n=685



	n	場 の 趣 味 の 場 や 職 場 の 整 備	生 き が い の も て る 趣 味 の 場 や 職 場 の 整 備	充 実 の 充 実	健 康 診 断 な ど 健 康 づ き り 支 援 の 充 実	保 険 サ ー ビ ス の 充 実	介 護 予 防 サ ー ビ ス の 充 実	公 共 交 通 機 関 な ど 外 出 手 段 の 充 実	孤 立 化 を 防 ぐ た め の 体 制	策 の 推 進	活 動 の 充 実	安 全 に 生 活 で き る 防 犯 対 策 の 推 進	充 実 の 充 実	時 災 害 な ど の 防 災 体 制 の 充 実	そ の 他	無 回 答
10代	10	30.0	10.0	70.0	20.0	50.0	10.0	10.0	-	-	-	-	-	-	-	-
20代	17	64.7	11.8	35.3	5.9	47.1	-	5.9	-	5.9	-	-	-	5.9	-	5.9
30代	63	47.6	11.1	41.3	25.4	41.3	7.9	12.7	1.6	-	-	-	-	-	-	-
40代	73	54.8	9.6	31.5	31.5	27.4	5.5	21.9	2.7	-	-	-	-	-	-	-
50代	130	37.7	13.8	45.4	21.5	41.5	8.5	15.4	3.8	-	-	-	-	-	-	-
60代	215	35.3	14.9	40.9	18.6	38.1	10.7	23.3	2.3	2.3	-	-	-	-	-	-
70代	164	32.9	23.2	31.7	17.7	29.3	16.5	25.0	0.6	6.7	-	-	-	-	-	-
80歳以上	4	75.0	25.0	-	-	25.0	25.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-
住みよい	231	44.2	14.3	34.2	20.3	42.9	8.7	15.6	2.2	2.2	-	-	-	-	-	-
普通	312	36.9	19.2	38.5	18.6	32.7	12.5	21.8	1.9	3.2	-	-	-	-	-	-
住みにくい	127	34.6	11.8	49.6	25.2	33.1	9.4	24.4	2.4	2.4	-	-	-	-	-	-

【観光の振興】

問 1 5 松崎町の観光振興への取り組みで、何が特に重要と考えますか。

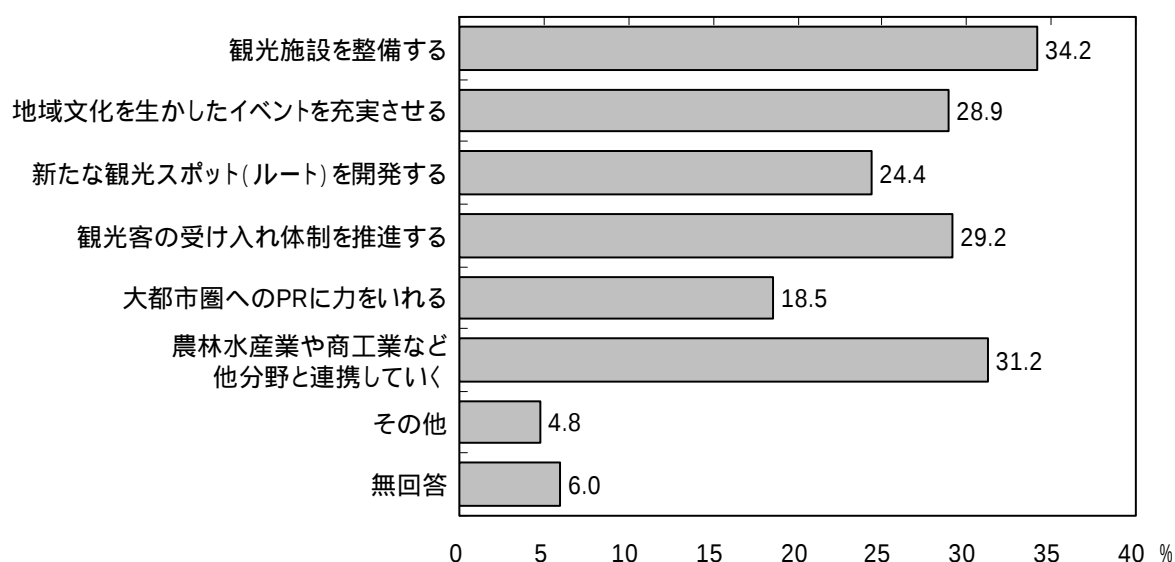
(2 つまで。)

観光の振興については、「観光施設を整備する」が 34.2%と最も多く、次いで「農林水産業や商工業など他分野と連携していく」が 31.2%、「観光客の受け入れ体制を推進する」が 29.2%となっています。

年代別で見ると、1 位回答は年代によりばらつきがあり、10 代では「地域文化を生かしたイベントを充実させる」が、20 代、30 代、40 代、70 代では「観光施設を整備する」が、50 代、60 代、80 歳以上では「農林水産業や商工業など他分野と連携していく」が最も多くなっています。

住みよさ度別に見ると、住みよいと回答した層では、「観光客の受け入れ体制を推進する」が多くなっています。

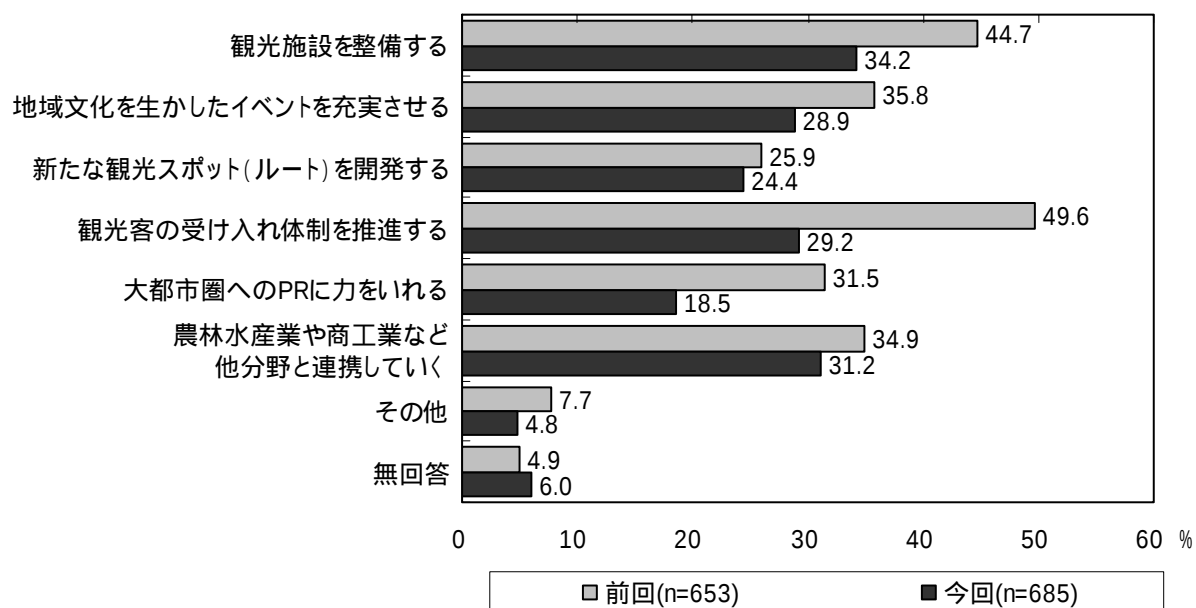
問15 (複数回答) n=685



	n	観光施設を整備する	地域文化を生かしたイベントを充実させる	新たな観光スポット(ルート)を開発する	観光客の受け入れ体制を推進する	大都市圏へのPRに力を入れる	農林水産業や商工業など他分野と連携していく	その他	無回答
10代	10	20.0	80.0	10.0	30.0	30.0	30.0	-	-
20代	17	47.1	17.6	41.2	23.5	35.3	5.9	5.9	-
30代	63	46.0	38.1	25.4	38.1	22.2	17.5	6.3	-
40代	73	43.8	31.5	21.9	35.6	23.3	21.9	8.2	-
50代	130	33.1	26.2	26.2	27.7	18.5	34.6	6.9	1.5
60代	215	29.8	27.4	25.1	27.4	16.7	39.1	4.2	7.0
70代	164	31.7	26.8	23.2	27.4	15.2	29.3	2.4	13.4
80歳以上	4	25.0	25.0	-	25.0	-	50.0	-	25.0
住みよい	231	35.5	32.0	18.6	34.6	20.3	32.0	3.5	3.0
普通	312	32.4	28.8	27.6	27.6	14.7	30.1	5.1	8.7
住みにくい	127	36.2	22.8	26.8	25.2	23.6	32.3	6.3	4.7

経年比較でみると、全体的に前回に比べ回答が少なくなっています。また、前は「観光客の受け入れ体制を推進する」、「観光施設を整備する」、「地域文化を生かしたイベントを充実させる」の順で多くなっていましたが、今回は「観光施設を整備する」、「農林水産業や商工業など他分野と連携していく」、「観光客の受け入れ体制を推進する」の順となっており、他分野との連携が前回よりも重要視されています。

経年比較



【防災対策】

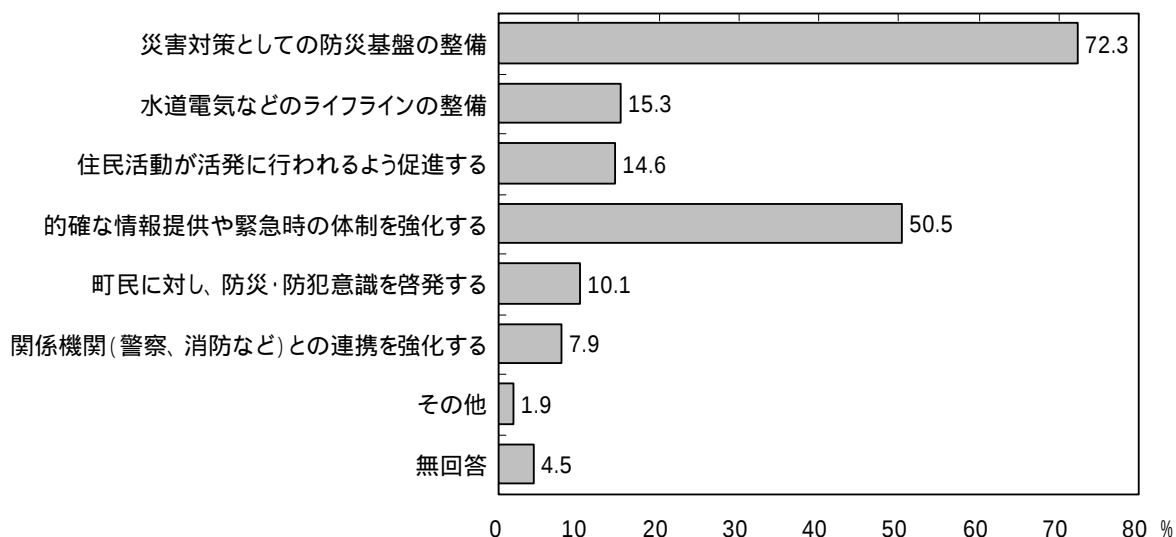
問 1 6 松崎町の安全なまちづくりへの取り組みで、何が特に重要と考えますか。
(2 つまで。)

防災対策については、「災害対策としての防災基盤の整備」が 72.3%と最も多く、次いで「的確な情報提供や緊急時の体制を強化する」が 50.5%、「水道電気などのライフラインの整備」が 15.3%となっています。

年代別で見ると、いずれの年代においても「災害対策としての防災基盤の整備」が最も多くなっています。

住みよさ度別に見ると、住みにくいと回答した層では「水道電気などのライフラインの整備」が多くなっています。

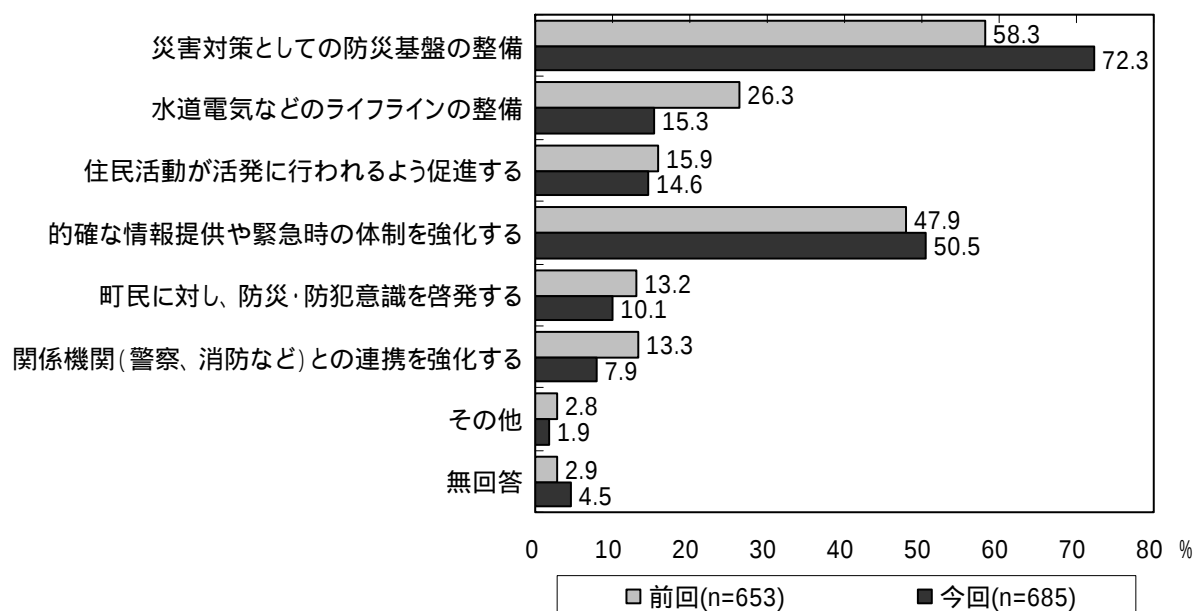
問16 (複数回答) n=685



	n	災害対策としての防災基盤の整備	水道電気などのライフラインの整備	住民活動が活発に行われるよう促進する	的確な情報提供や緊急時の体制を強化する	町民に対し、防災・防犯意識を啓発する	関係機関(警察、消防など)との連携を強化する	その他	無回答
10代	10	80.0	20.0	40.0	20.0	-	20.0	-	-
20代	17	70.6	17.6	17.6	64.7	11.8	5.9	-	-
30代	63	79.4	12.7	11.1	55.6	11.1	9.5	1.6	1.6
40代	73	79.5	13.7	11.0	50.7	8.2	9.6	1.4	1.4
50代	130	67.7	19.2	17.7	53.8	10.8	10.8	3.1	-
60代	215	69.8	16.7	14.4	52.6	8.4	4.7	1.9	4.7
70代	164	73.2	12.8	13.4	45.1	12.2	7.3	1.2	10.4
80歳以上	4	75.0	-	-	75.0	-	-	-	25.0
住みよい	231	77.1	13.0	14.7	51.9	12.1	8.7	1.3	3.0
普通	312	71.2	15.1	14.7	51.6	7.7	6.1	1.9	5.8
住みにくい	127	66.9	22.0	15.0	46.5	12.6	10.2	1.6	3.1

経年比較でみると、上位2回答であった「災害対策としての防災基盤の整備」と「的確な情報提供や緊急時の体制を強化する」が前回よりも上回っています。

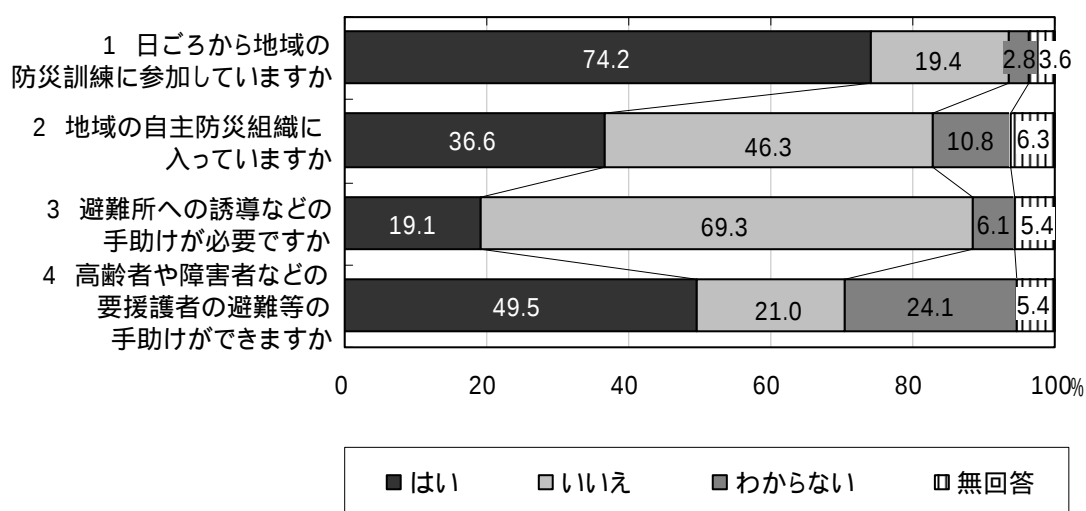
経年比較



問 1 7 あなたは防災に対する日ごろからの取り組みや、災害などの緊急時の対応について、どのようにお考えですか。(それぞれ1つずつに○)

防災・緊急時の対応については、『はい』で見ると、「1 日ごろから地域の防災訓練に参加している」が74.2%と最も多く、次いで「4 災害などの緊急時に、高齢者や障害者などの要援護者の避難等の手助けができる」が49.5%、「2 地域の自主防災組織に入っている」が36.6%となっています。『いいえ』で見ると、「3 災害などの緊急時に、避難所への誘導などの手助けが必要」が69.3%と最も多く、次いで「2 地域の自主防災組織に入っている」が46.3%、「4 災害などの緊急時に、高齢者や障害者などの要援護者の避難等の手助けができる」が21.0%となっています。

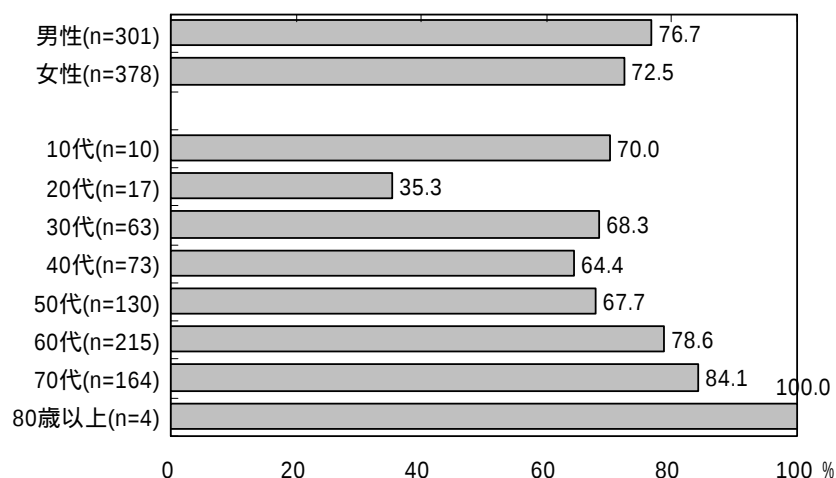
防災・緊急対応(n=685)



日ごろから地域の防災訓練に参加していますか「はい」

「はい」について性別で見ると、男性の方が女性よりやや多くなっています。

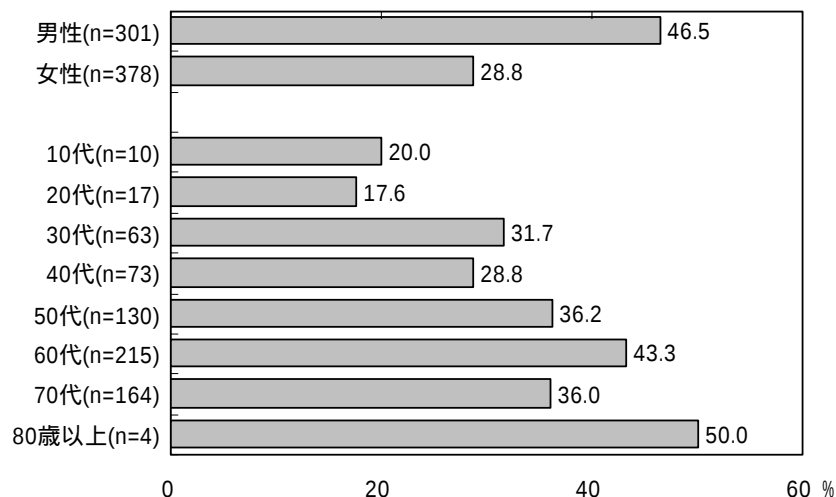
「はい」について年代別で見ると、20代では35.3%と他に比べ非常に少なくなっています。



地域の自主防災組織に入っていますか「はい」

「はい」について性別で見ると、男性では46.5%と女性に比べ非常に多くなっています。

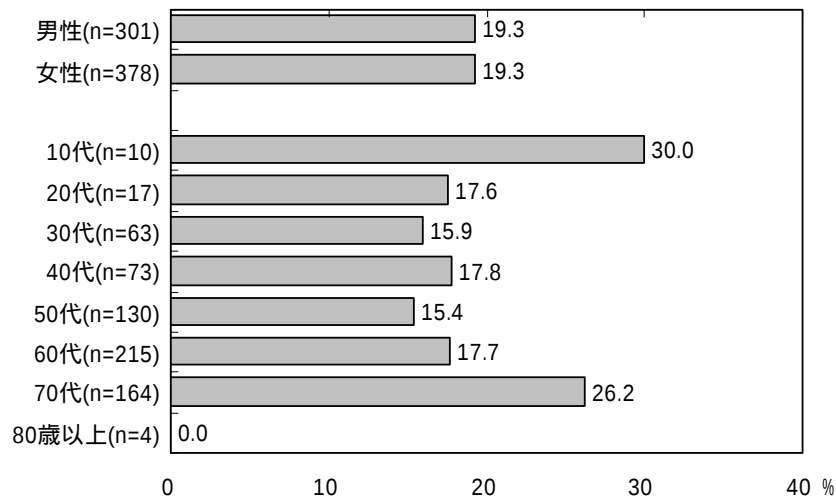
「はい」について年代別で見ると、概ね年代が高い方が多くなっており、60代では43.3%、80歳以上では50.0%となっています。



避難所への誘導などの手助けが必要ですか「はい」

「はい」について性別で見ると、男女ともに約2割となっています。

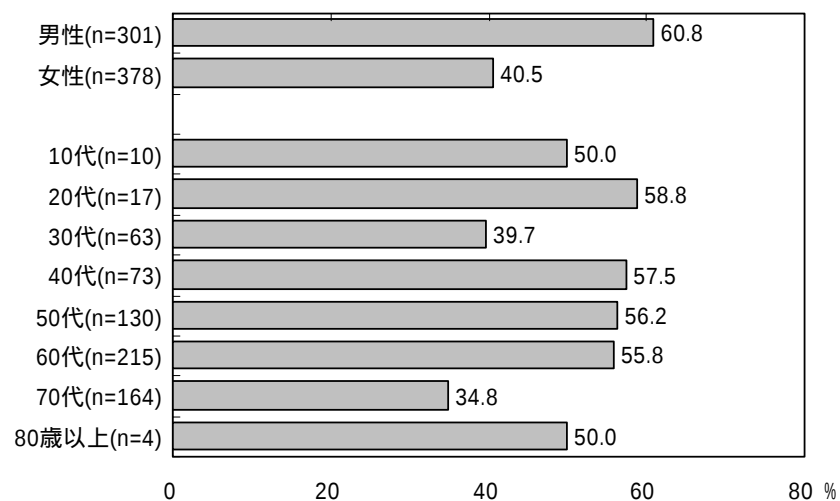
「はい」について年代別で見ると、10代と70代では多くなっています。



高齢者や障害者などの要援護者の避難等の手助けができますか「はい」

「はい」について性別で見ると、男性では 60.8%と女性に比べ非常に多くなっています。

「はい」について年代別で見ると、20 代、40 代、50 代、60 代、80 歳以上では 5 割を超え多くなっています。



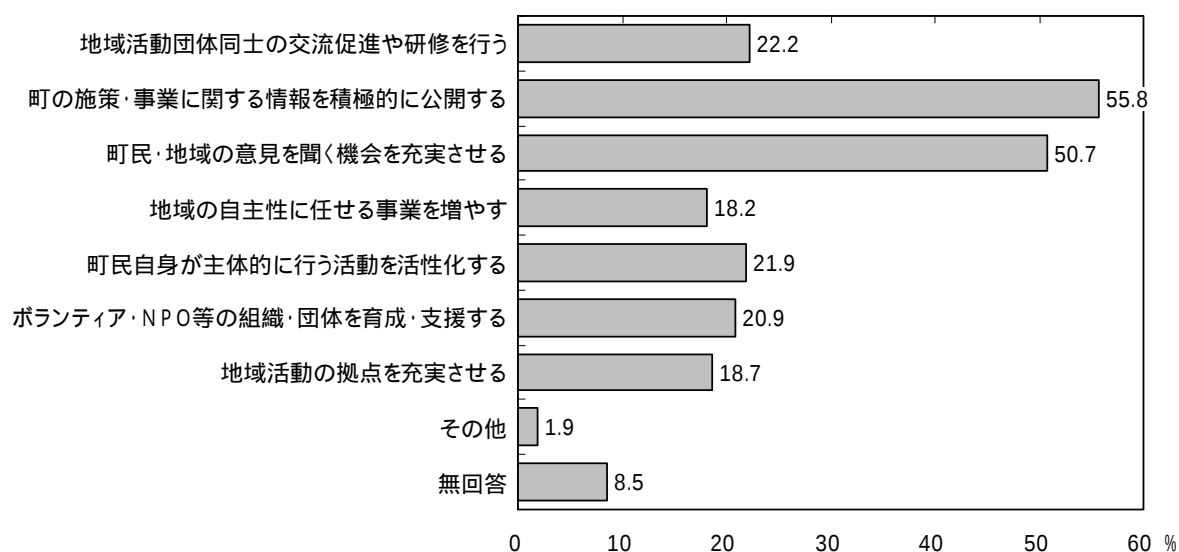
【協働の取り組み】

問 1 8 町民と行政が協働して新しいまちづくりを進める取り組みで、何が特に重要と考えますか。(3 つまで。)

協働の取り組みについては、「町の施策・事業に関する情報を積極的に公開する」が 55.8%と最も多く、次いで「町民・地域の意見を聞く機会を充実させる」が 50.7%、「地域活動団体同士の交流促進や研修を行う」が 22.2%となっています。

年代別で見ると、いずれの年代も「町の施策・事業に関する情報を積極的に公開する」と「町民自身が主体的に行う活動を活性化する」が概ね 1 位回答と多くなっています。

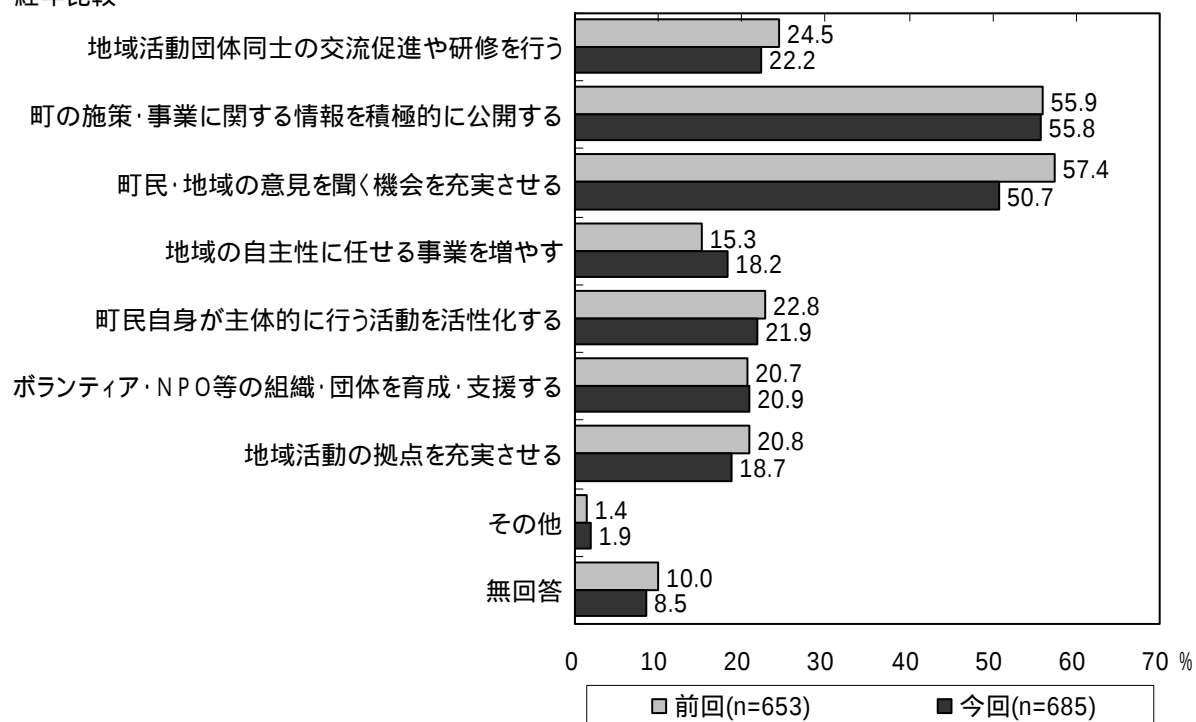
問18 (複数回答) n=685



	n	う交地公す町る聞町る地る行町育Oボ実地そ無	流域開のの施策の民く事域のう民成等ランせ域活の	促進する情報を・積事業的に関	く・地を域充の意	の業の自主性に任	町民自身が主体的に行う活動を活性化す	ボランティア・NPO等の組織・団体を育成・支援する	地域活動の拠点を充実させる	その他	無回答
10代	10	30.0	60.0	60.0	40.0	30.0	10.0	20.0	-	-	-
20代	17	17.6	64.7	58.8	17.6	23.5	5.9	17.6	-	-	5.9
30代	63	22.2	54.0	54.0	30.2	14.3	17.5	15.9	-	-	9.5
40代	73	17.8	52.1	53.4	21.9	15.1	16.4	23.3	4.1	1.4	1.4
50代	130	21.5	66.2	50.8	23.1	16.2	26.2	16.9	1.5	4.6	4.6
60代	215	21.4	56.3	49.3	13.0	25.6	23.7	18.6	1.9	7.9	7.9
70代	164	23.8	49.4	47.6	13.4	26.8	18.3	20.1	2.4	15.2	15.2
80歳以上	4	50.0	50.0	50.0	-	25.0	25.0	25.0	-	25.0	25.0

経年比較でみると、全体的に前回と同程度の割合となっています。

経年比較



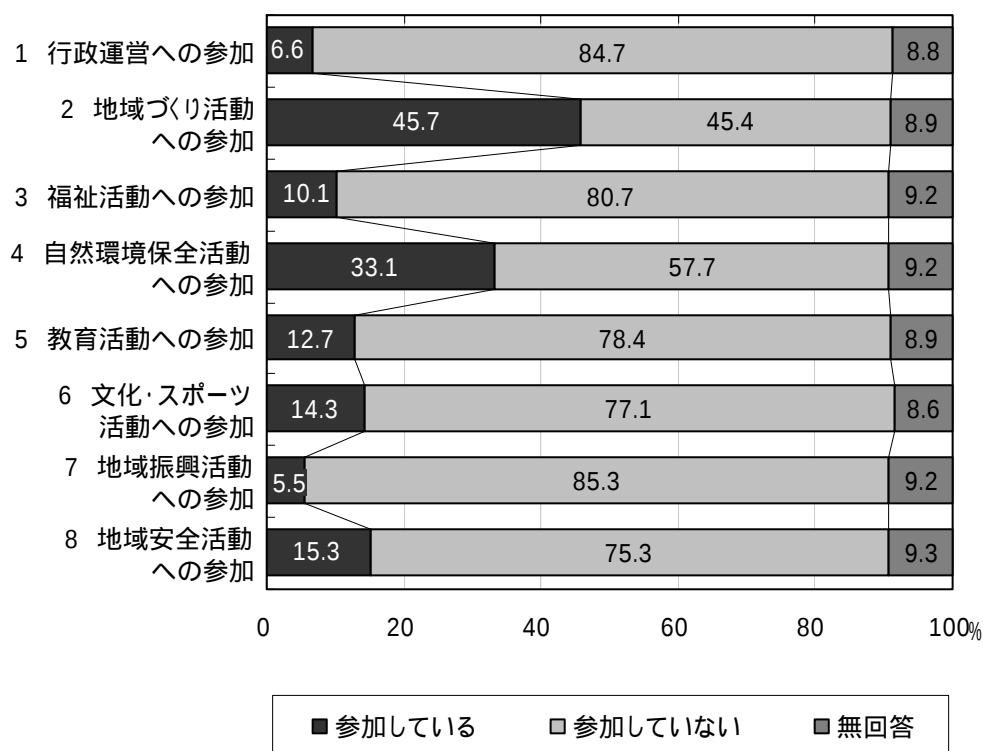
【まちづくりや地域づくり】

問 19 まちづくりや地域づくりに参加していますか。また、今後参加したいと思いますか。(各項目について、それぞれ1つずつに○)

まちづくりや地域づくりの参加状況については、『参加している』で見ると、「2 地域づくり活動への参加」が45.7%と最も多く、次いで「4 自然環境保全活動への参加」が33.1%、「8 地域安全活動への参加」が15.3%となっています。『参加していない』で見ると、「7 地域振興活動への参加」が85.3%と最も多く、次いで「1 行政運営への参加」が84.7%、「3 福祉活動への参加」が80.7%となっています。各項目において『参加していない』が『参加している』を上回る傾向となっています。

《参加状況》

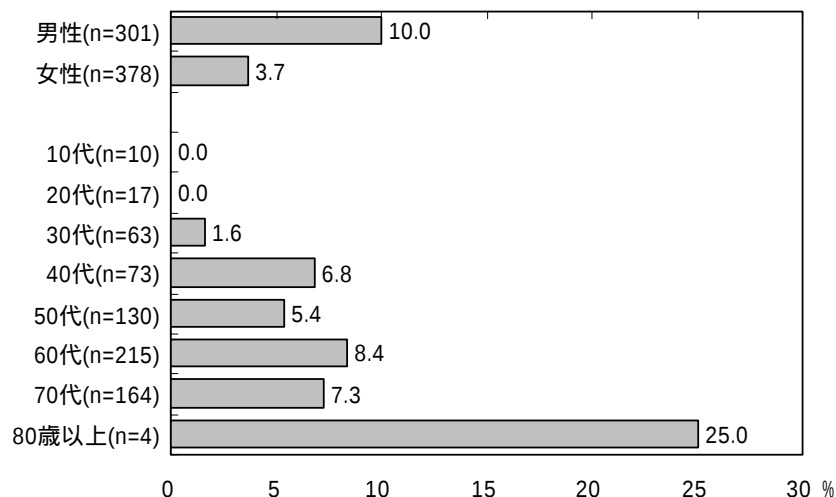
まちづくり参加状況 (n=685)



行政運営への参加「参加している」

「参加している」について性別で見ると、男性の方が女性の2倍以上と多くなっています。

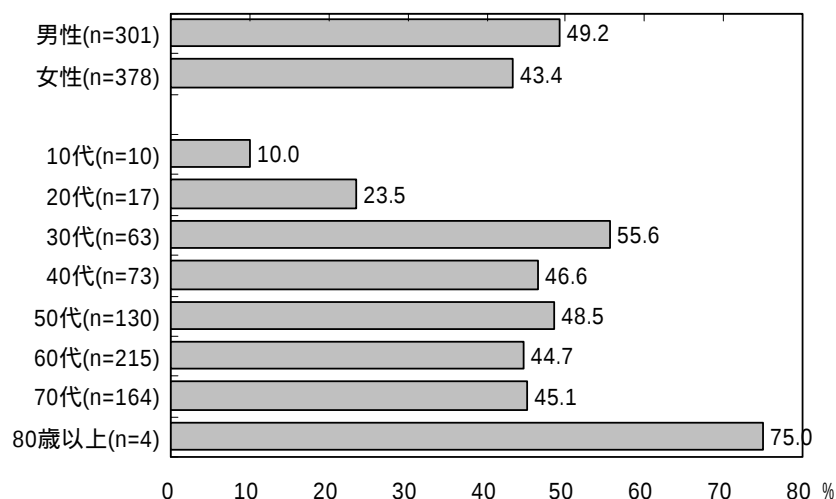
「参加している」について年代別で見ると、10代、20代では0.0%と少なく、40代から70代では5%以上、80歳以上では25.0%と多くなっています。



地域づくり活動への参加「参加している」

「参加している」について性別で見ると、男性の方が女性に比べやや多くなっています。

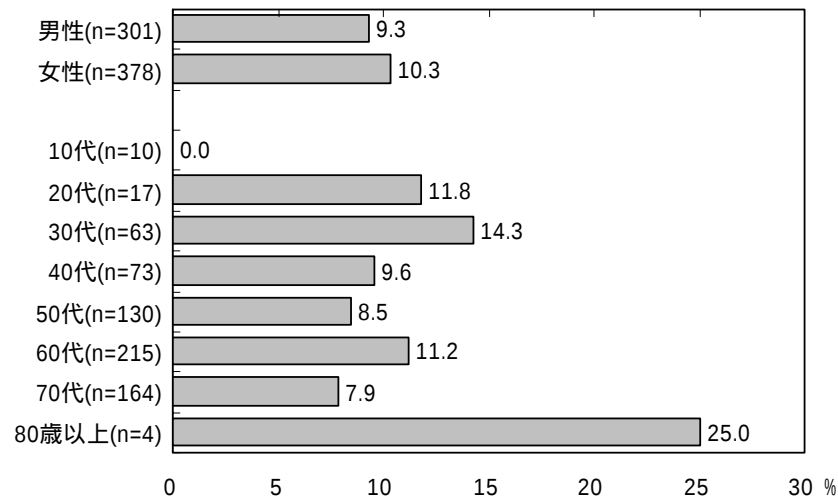
「参加している」について年代別で見ると、10代、20代では少ないですが、80歳以上では75.0%、30代では55.6%となっています。



福祉活動への参加「参加している」

「参加している」について性別で見ると、いずれも約1割と同程度となっています。

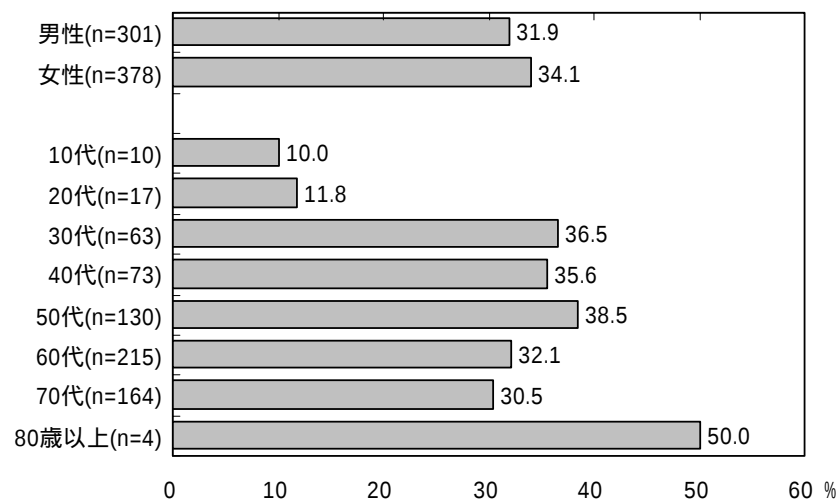
「参加している」について年代別で見ると、10代では0.0%ですが、20代から70代では概ね1割程度、80歳以上では25.0%となっています。



自然環境保全活動への参加「参加している」

「参加している」について性別で見ると、男女ともに3割程度となっています。

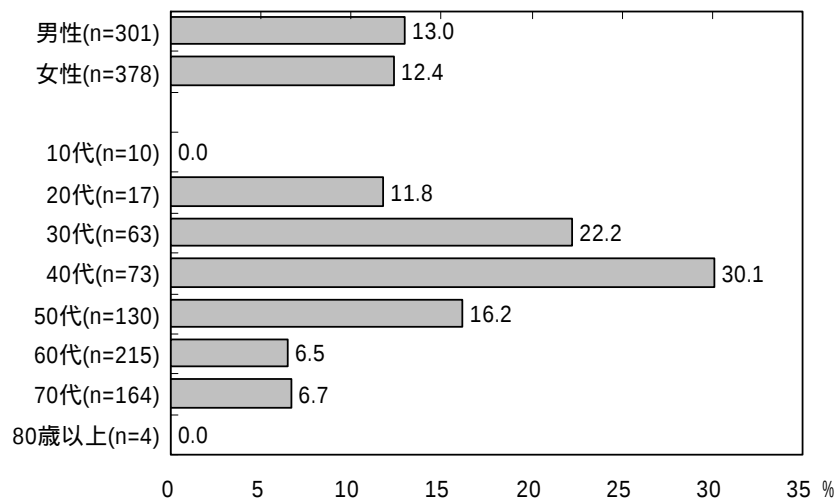
「参加している」について年代別で見ると、10代、20代では1割程度と低くなっていますが30代以上では3割以上となっています。



教育活動への参加「参加している」

「参加している」について性別で見ると、男女ともに1割程度となっています。

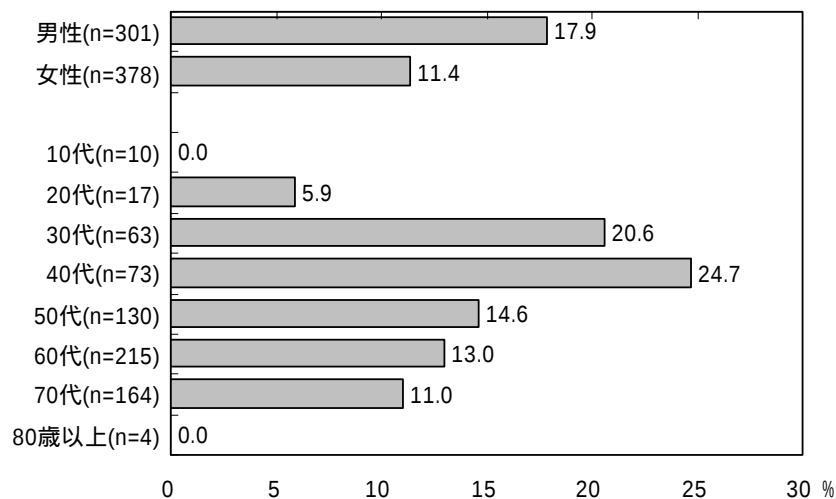
「参加している」について年代別で見ると、10代、80代では0.0%となっていますが、30代では約2割、40代では約3割と多くなっています。



文化・スポーツ活動への参加「参加している」

「参加している」について性別で見ると、男性の方が女性よりやや多くなっています。

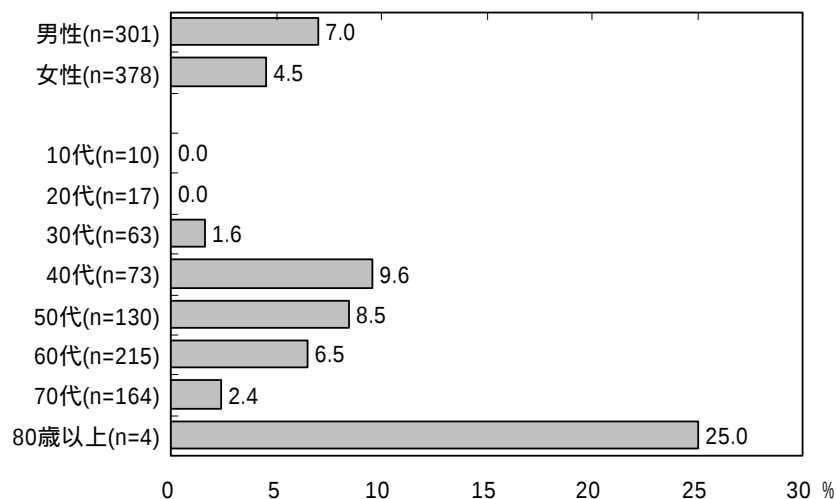
「参加している」について年代別で見ると、10代と80歳以上では0.0%となっていますが、30代と40代では2割以上と多くなっています。



地域振興活動への参加「参加している」

「参加している」について性別で見ると、男性の方が女性に比べやや多くなっています。

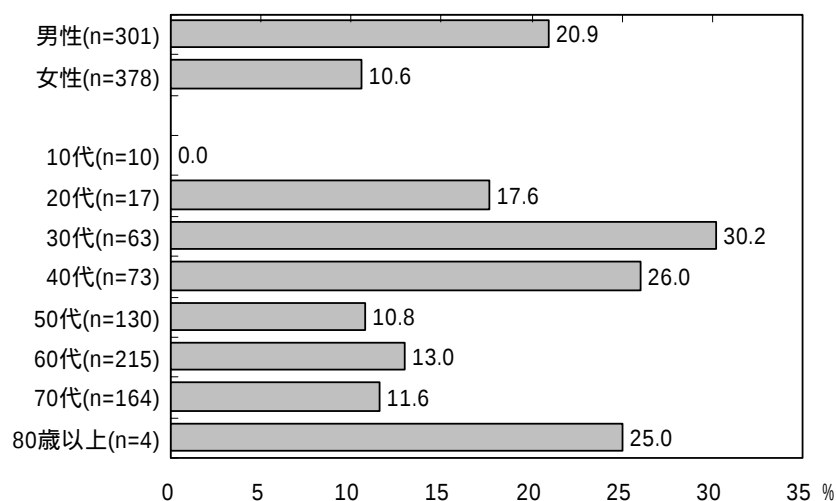
「参加している」について年代別で見ると、10代、20代では0.0%となっていますが80歳以上では25.0%と多くなっています。



地域安全活動への参加「参加している」

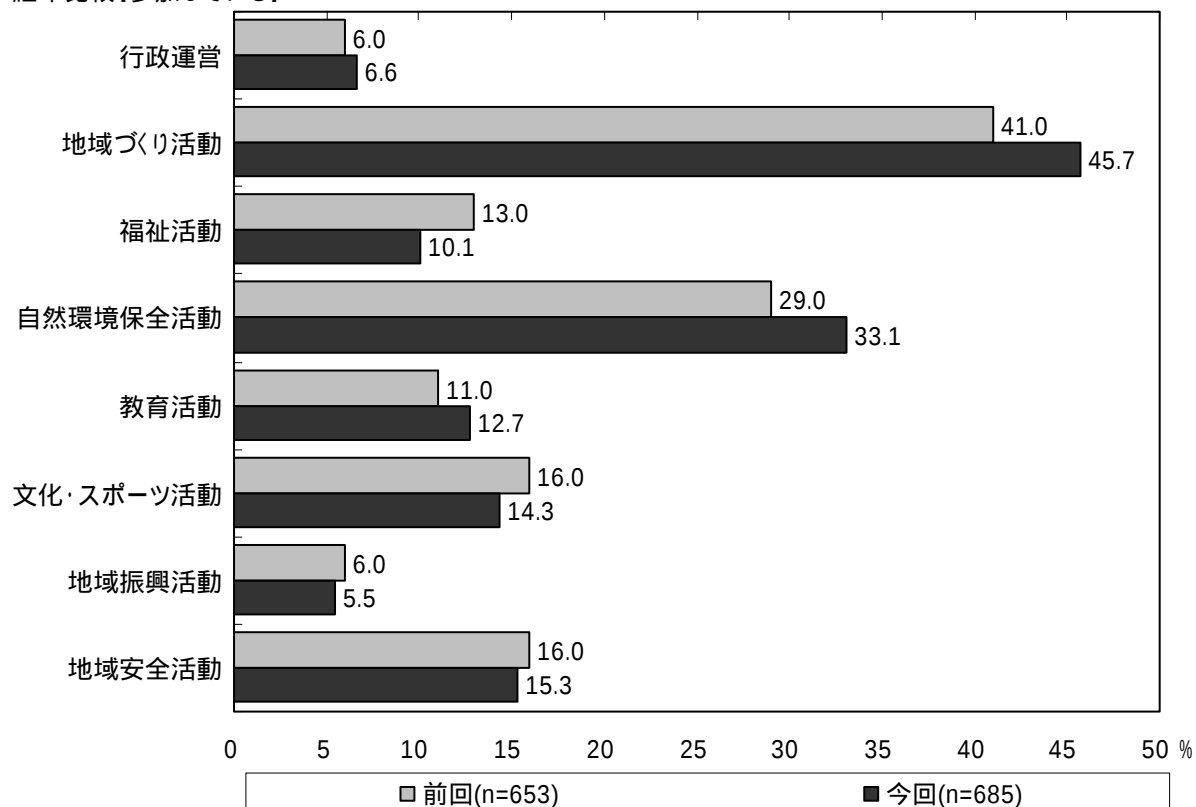
「参加している」について性別で見ると、男性では約2割と助成に比べ約2倍となっています。

「参加している」について年代別で見ると、10代では0.0%となっていますが、30代では約3割、40代、80歳以上では2割を超え多くなっています。



経年比較でみると、上位2位回答であった地域づくり活動と自然環境保全活動については、「参加している」が前回よりも多くなっています。

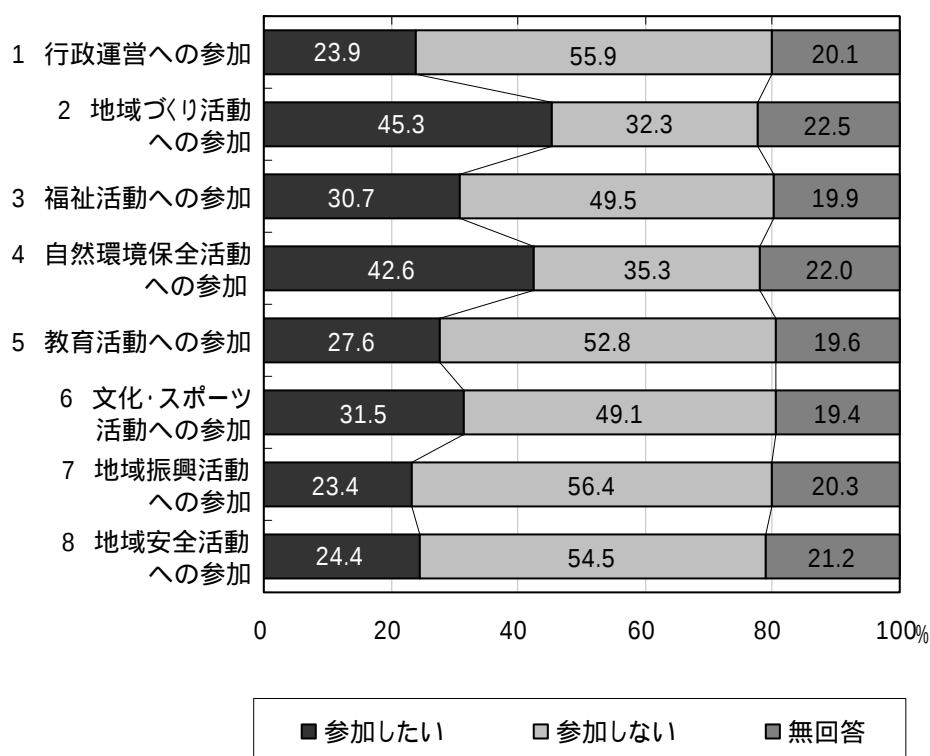
経年比較【参加している】



まちづくりや地域づくりの参加意向については、『参加したい』で見ると、「2 地域づくり活動への参加」が45.3%と最も多く、次いで「4 自然環境保全活動への参加」が42.6%、「6 文化・スポーツ活動への参加」が31.5%となっています。『参加しない』で見ると、「7 地域振興活動への参加」が56.4%と最も多く、次いで「1 行政運営への参加」が55.9%、「8 地域安全活動への参加」が54.5%となっています。各項目において『参加しない』が『参加したい』を上回る傾向となっています。

《参加意向》

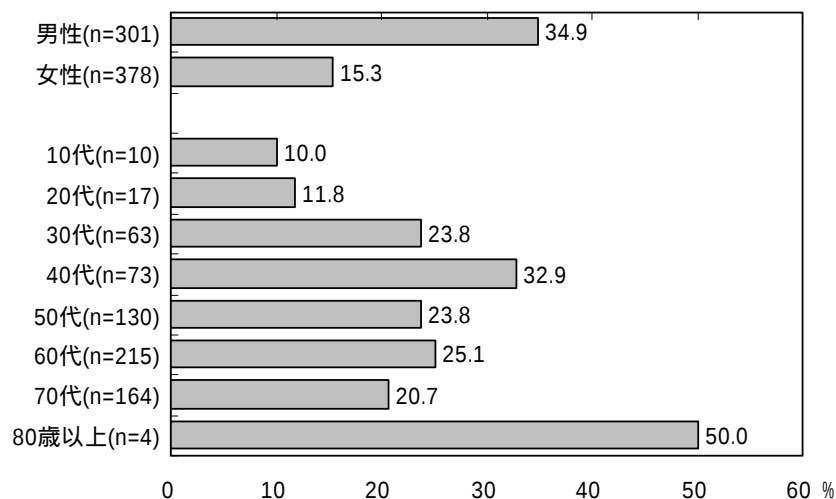
まちづくり参加意向 (n=685)



行政運営への参加「参加したい」

「参加したい」について性別で見ると、男性では3割以上と女性に比べ約2倍となっています。

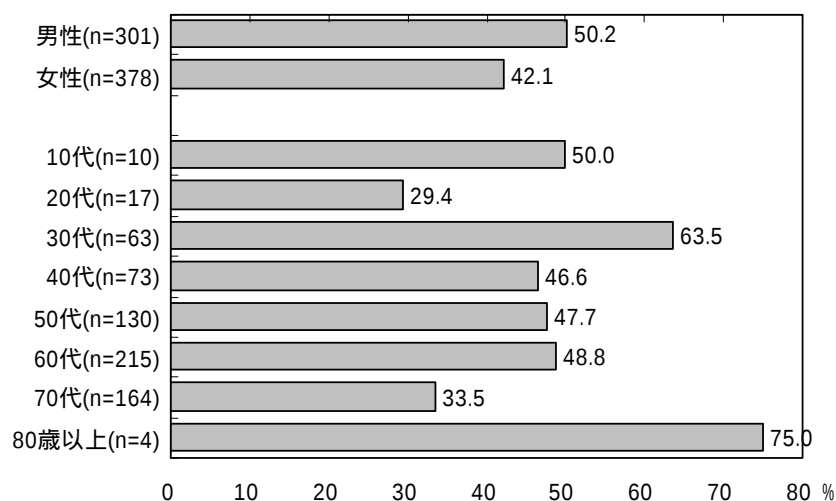
「参加したい」について年代別で見ると、10代、20代では約1割と少なくなっていますが、80歳以上では5割、40代では約3割と多くなっています。



地域づくり活動への参加「参加したい」

「参加したい」について性別で見ると、男性では約5割と女性に比べやや多くなっています。

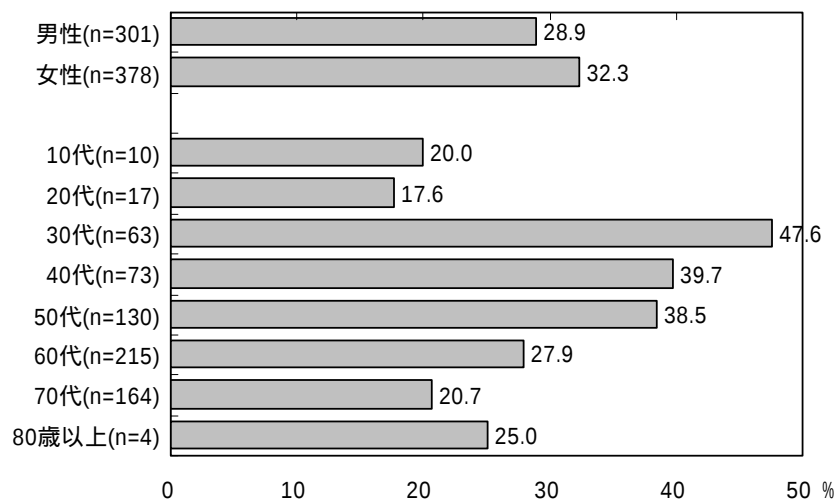
「参加したい」について年代別で見ると、80歳以上では7割以上、30代では6割以上、10代では5割と多くなっています。



福祉活動への参加「参加したい」

「参加したい」について性別で見ると、女性では3割を超え男性に比べやや多くなっています。

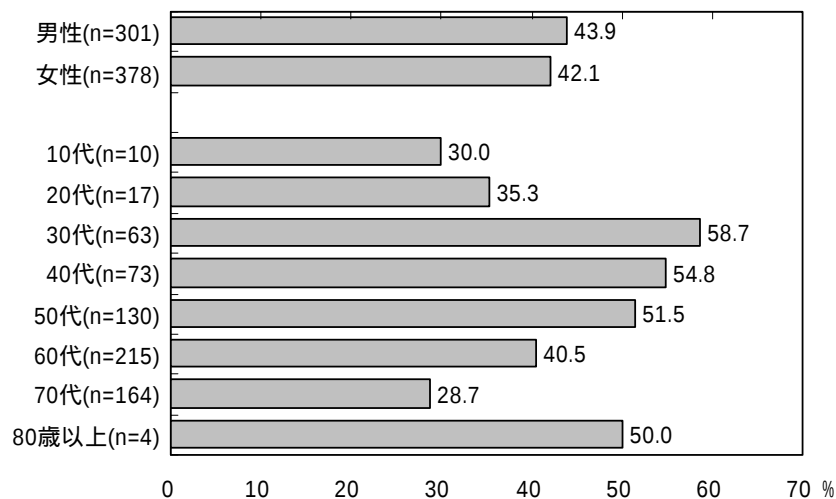
「参加したい」について年代別で見ると、30代では約5割と最も多く、次いで40代、50代では約4割と多くなっています。



自然環境保全活動への参加「参加したい」

「参加したい」について性別で見ると、男女ともに約4割となっています。

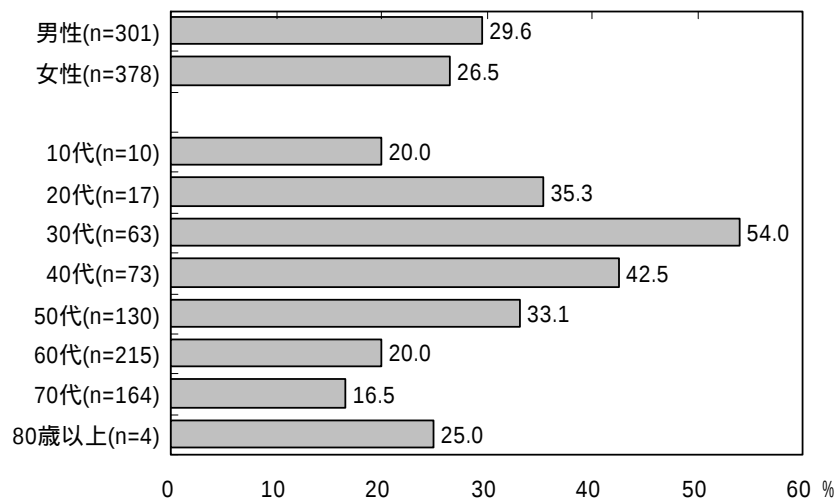
「参加したい」について年代別で見ると、30代、40代、50代、80歳以上では5割以上と多くなっています。



教育活動への参加「参加したい」

「参加したい」について性別で見ると、男性の方が女性よりやや多くなっています。

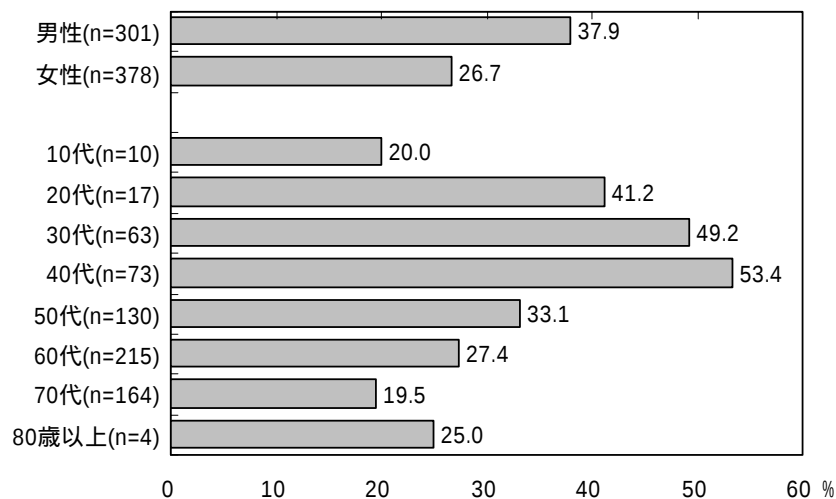
「参加したい」について年代別で見ると、30代では5割を超え最も多く、次いで40代で4割以上、20代、50代で3割以上となっています。



文化・スポーツ活動への参加「参加したい」

「参加したい」について性別で見ると、男性では約4割と女性に比べ多くなっています。

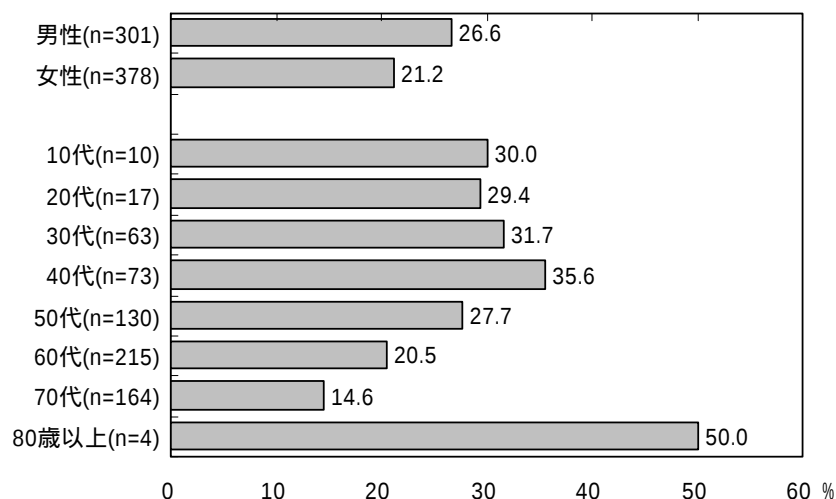
「参加したい」について年代別で見ると、40代、30代では約5割、20代では約4割と多くなっています。



地域振興活動への参加「参加したい」

「参加したい」について性別で見ると、男性の方が女性よりやや多くなっています。

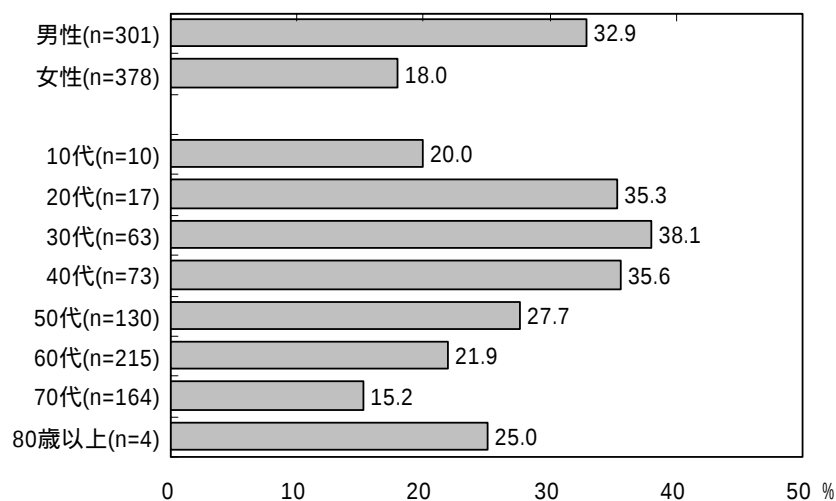
「参加したい」について年代別で見ると、80歳以上では5割と多く、次いで10代、30代、40代では3割以上となっています。



地域安全活動への参加「参加したい」

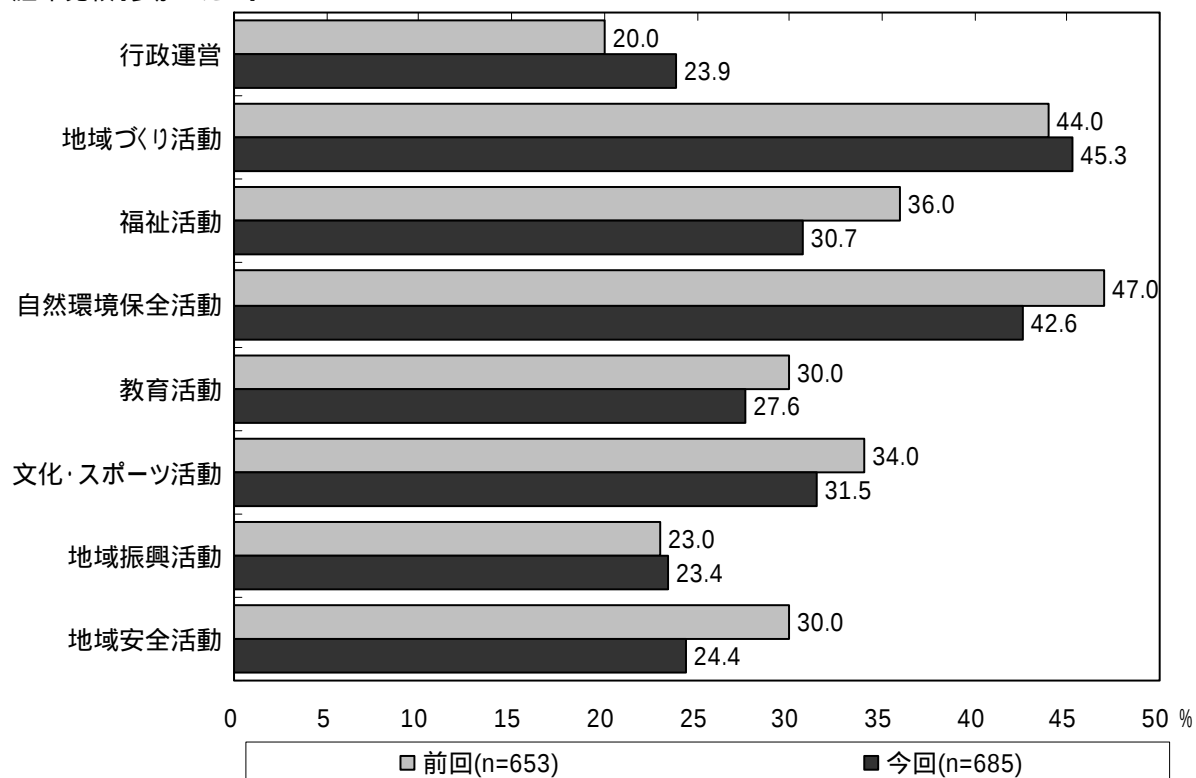
「参加したい」について性別で見ると、男性では3割を超え女性に比べ多くなっています。

「参加したい」について年代別で見ると、20代、30代、40代では3割を超え多くなっています。



経年比較でみると、行政運営と地域づくり活動については「参加したい」が前回より多くなっています。

経年比較【参加したい】



5 . 行政について

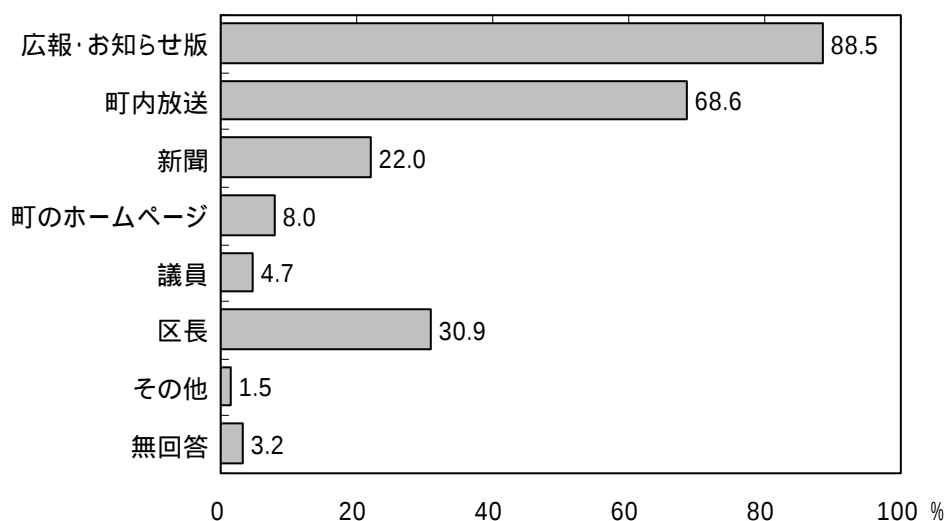
問20 町からの情報を何で知りますか。(あてはまるものすべてに○)

情報源については、「広報・お知らせ版」が88.5%と最も多く、次いで「町内放送」が68.6%、「区長」が30.9%となっています。

年代別で見ると、20代以上では「広報・お知らせ版」が1位回答となっています。また、20代から40代では「まちのホームページ」が、50代以上では「区長」が多くなっています。

住みよさ度別で見ると、住みよいと回答した層では、「広報・お知らせ版」や「区長」が多くなっています。

問20 (複数回答) n=685



	n	ら せ 報 版 ・ お 知	町 内 放 送	新 聞	べ 町 の ジ ホ ー ム	議 員	区 長	そ の 他	無 回 答
10代	10	60.0	70.0	30.0	-	-	10.0	10.0	-
20代	17	94.1	47.1	11.8	23.5	-	11.8	5.9	-
30代	63	95.2	73.0	17.5	12.7	-	9.5	1.6	-
40代	73	86.3	60.3	26.0	16.4	1.4	12.3	4.1	2.7
50代	130	92.3	66.2	21.5	4.6	6.9	30.0	2.3	1.5
60代	215	91.2	73.0	23.3	6.0	6.0	40.5	0.5	3.7
70代	164	82.3	68.3	21.3	5.5	5.5	39.0	-	4.9
80歳以上	4	100.0	75.0	50.0	25.0	-	75.0	-	-
住みよい	231	91.3	74.9	29.0	8.2	6.5	37.7	1.3	1.7
普通	312	88.5	66.7	18.6	7.4	4.5	30.8	1.3	3.8
住みにくい	127	85.0	62.2	17.3	9.4	2.4	20.5	1.6	3.1

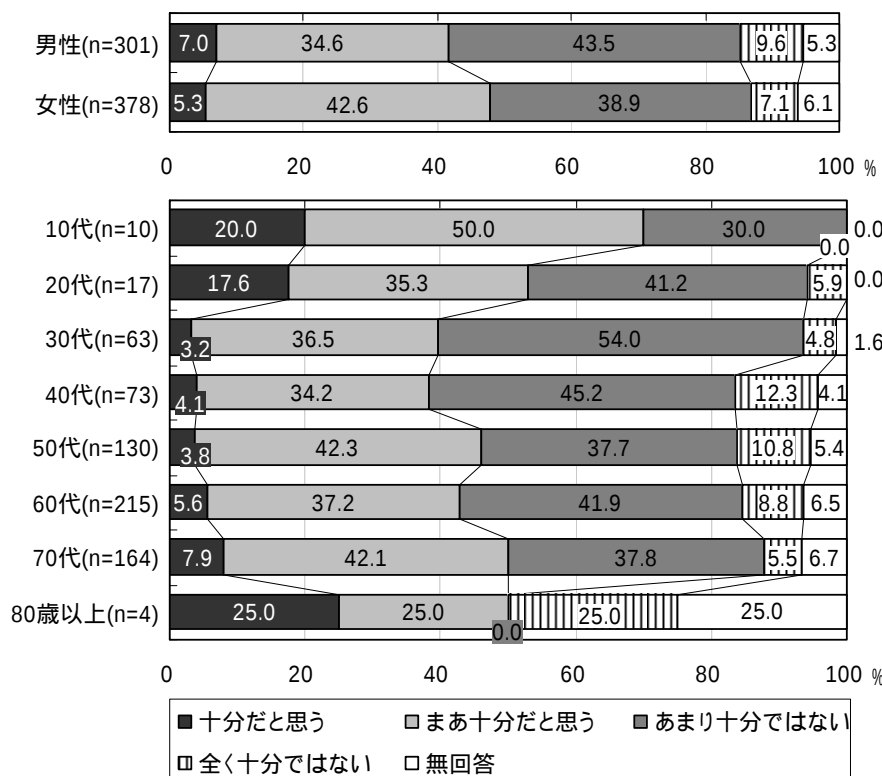
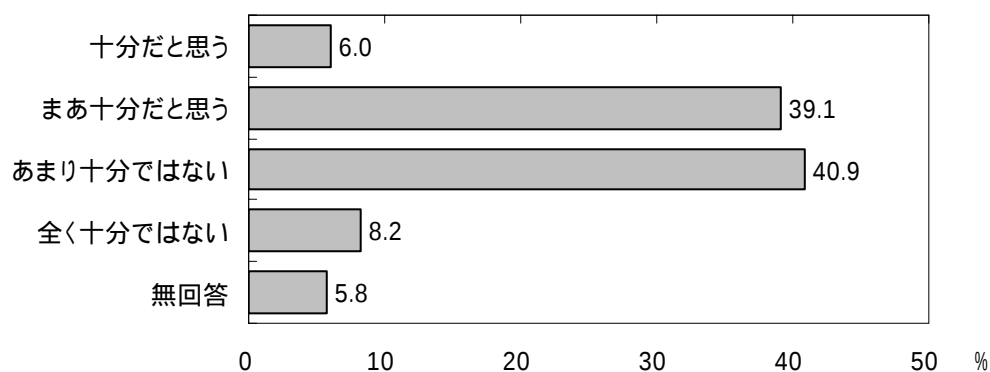
問 2 1 町の行財政運営に関して、情報の提供や公開が十分と感じていますか。

(1 つだけに○)

十分な情報公開がされているかについては、「十分だと思う」「まあ十分だと思う」を合わせて『十分だと思う』が 45.1%、「全く十分ではない」「あまり十分ではない」を合わせて『十分ではない』が 49.1%で、『十分でない』が若干多くなっています。

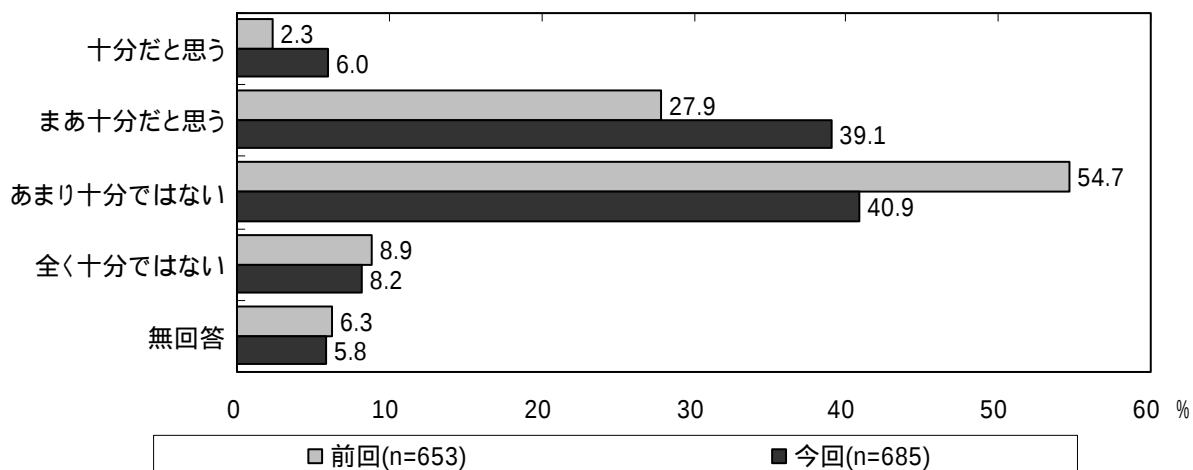
性別で見ると、女性の方が男性に比べ『十分だと思う』がやや多くなっています。
年代別で見ると、10 代、20 代では『十分だと思う』が多くなっています。

問21 (単数回答) n=685



経年比較でみると、「十分だと思う」と「まあ十分だと思う」は前回より大幅に上回っており、『十分だと思う』が14.9ポイントの増となっています。

経年比較



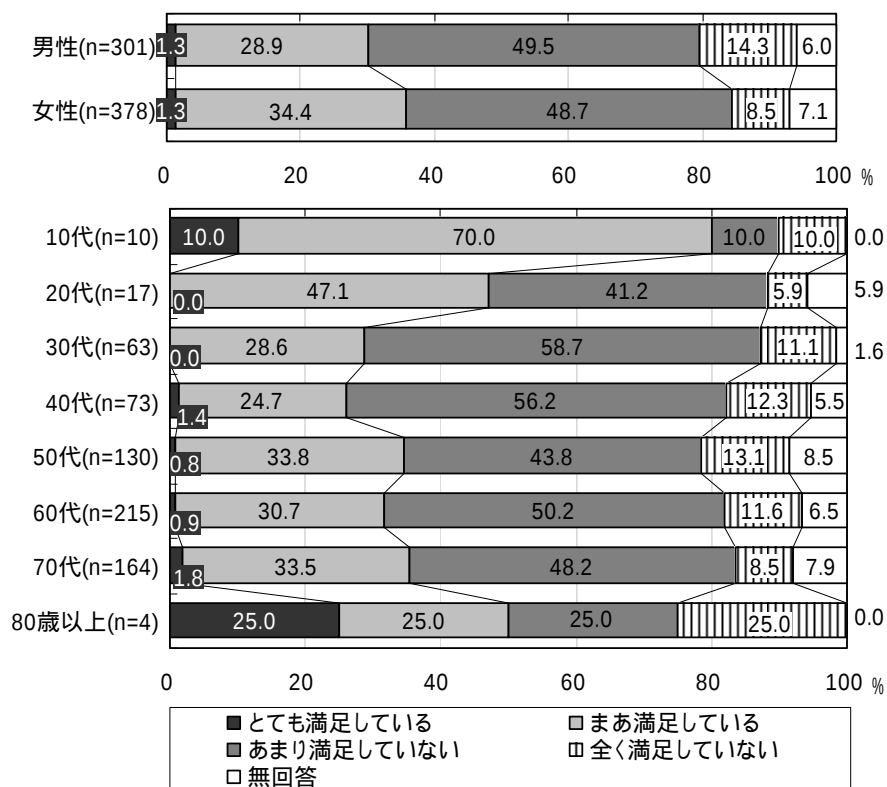
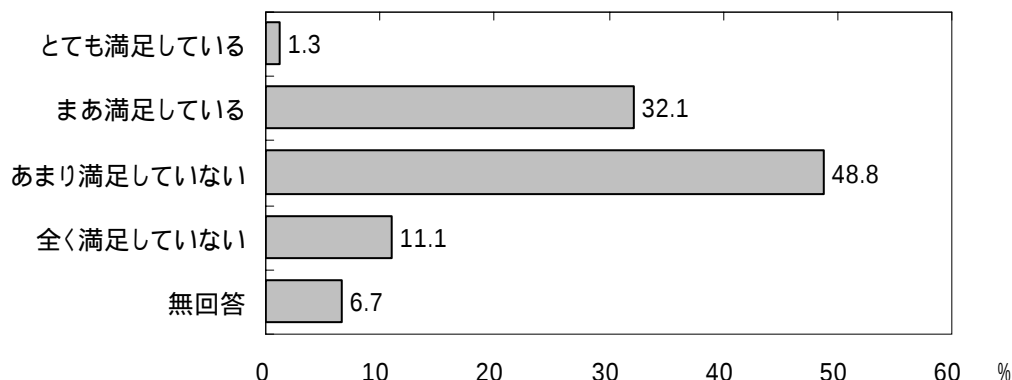
問 2 2 町の行政改革に対する取り組みに、あなたは満足していますか。

(1 つだけに ○)

行政改革の満足度については、「とても満足している」「まあ満足している」を合わせて『満足している』が 33.4%、「全く満足していない」「あまり満足していない」を合わせて『満足していない』が 59.9%で、『満足していない』が多くなっています。

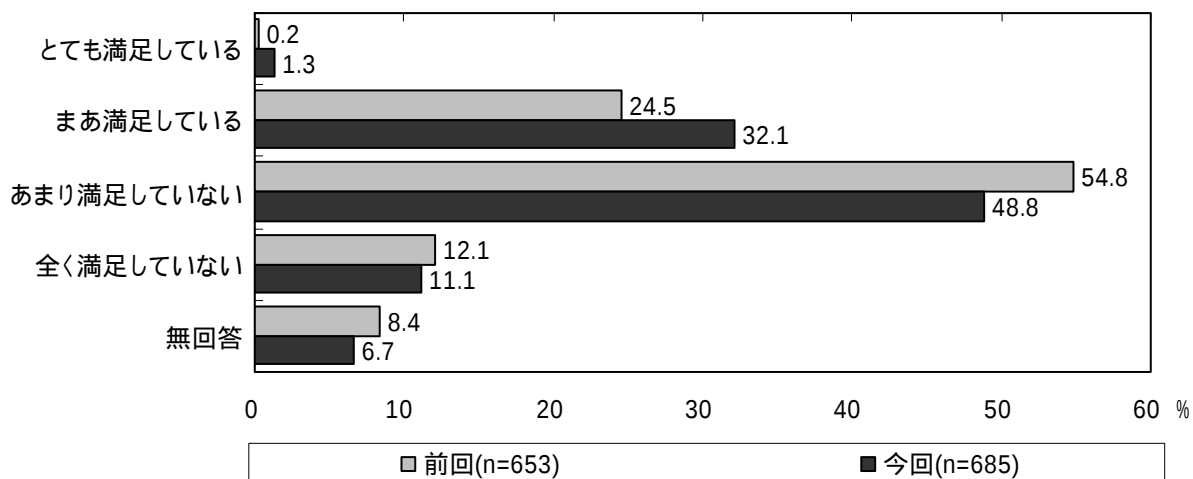
性別で見ると、女性の方が男性に比べ『満足している』がやや多くなっています。
年代別で見ると、10 代、20 代では『満足している』が多くなっています。

問22 (単数回答) n=685



経年比較でみると、「とても満足している」と「まあ満足している」は前回より上回っており、『満足している』が8.7ポイントの増となっています。

経年比較

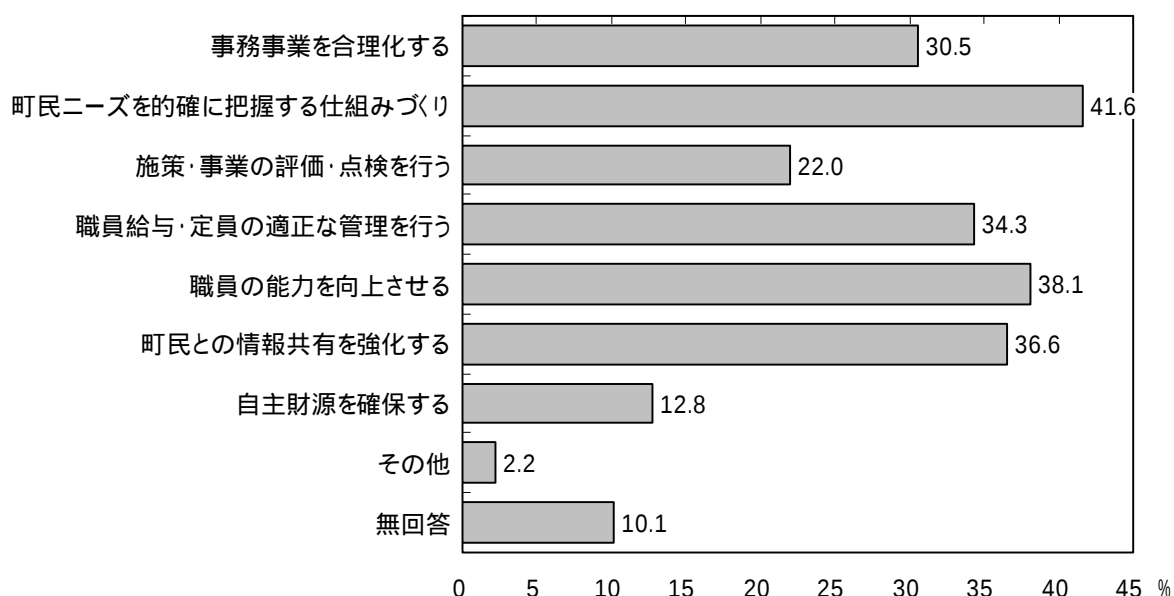


問23 町の行財政改革の取り組みで、何が特に重要と考えますか。(3つまで○)

行財政改革の重要事項については、「町民ニーズを的確に把握する仕組みづくり」が41.6%と最も多く、次いで「職員の能力を向上させる」が38.1%、「町民との情報共有を強化する」が36.6%となっています。

年代別で見ると、1位回答は年代のよりばらつきがあり、10代から40代と70代では「町民ニーズを的確に把握する仕組みづくり」が、50代では「町民との情報共有を強化する」が、60代では「職員の能力を向上させる」が最も多くなっています。

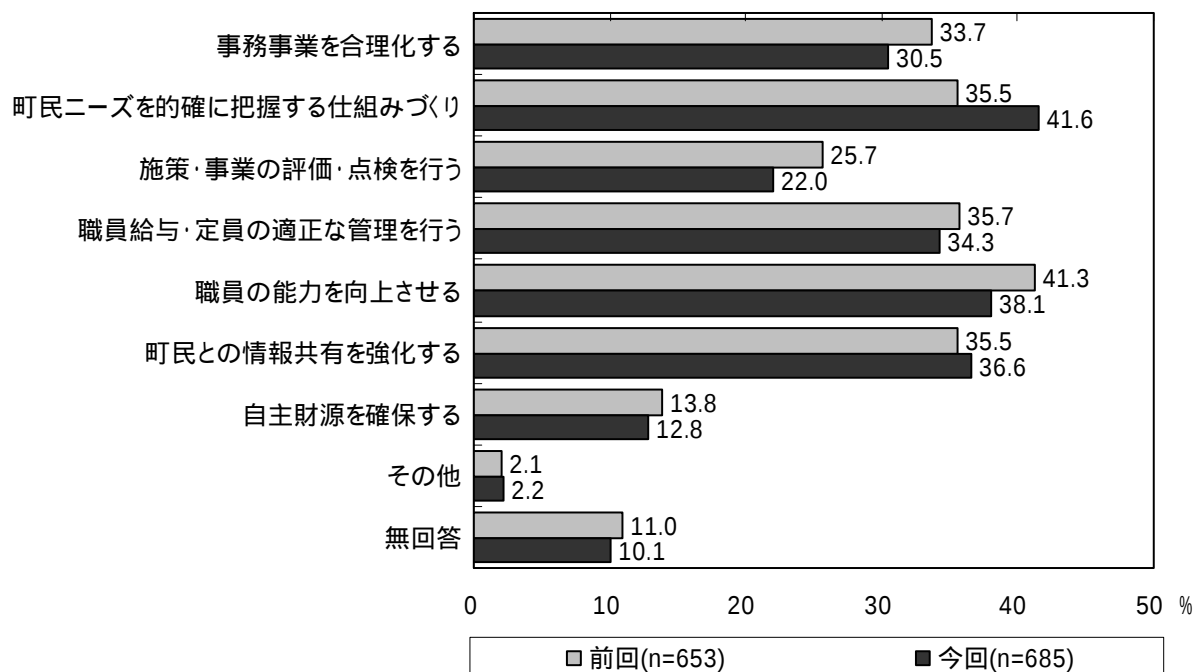
問23 (複数回答) n=685



	n	事務事業を合理化する	町民ニーズを的確に把握する仕組みづくり	施策・事業の評価・点検を行う	職員給与・定員の適正な管理を行う	職員の能力を向上させる	町民との情報共有を強化する	自主財源を確保する	その他	無回答
10代	10	20.0	60.0	50.0	30.0	50.0	30.0	30.0	-	-
20代	17	11.8	47.1	23.5	41.2	23.5	41.2	41.2	5.9	-
30代	63	34.9	58.7	23.8	20.6	33.3	44.4	4.8	4.8	4.8
40代	73	30.1	50.7	19.2	39.7	39.7	34.2	12.3	2.7	4.1
50代	130	31.5	32.3	27.7	33.1	36.2	41.5	20.0	2.3	8.5
60代	215	31.6	35.3	19.5	38.1	43.3	31.6	13.5	1.4	11.6
70代	164	28.7	46.3	18.3	34.8	35.4	38.4	6.7	1.2	14.0
80歳以上	4	50.0	50.0	75.0	-	25.0	-	-	25.0	25.0

経年比較でみると、1位回答の「町民ニーズを的確に把握する仕組みづくり」が前回より多くなっています。

経年比較

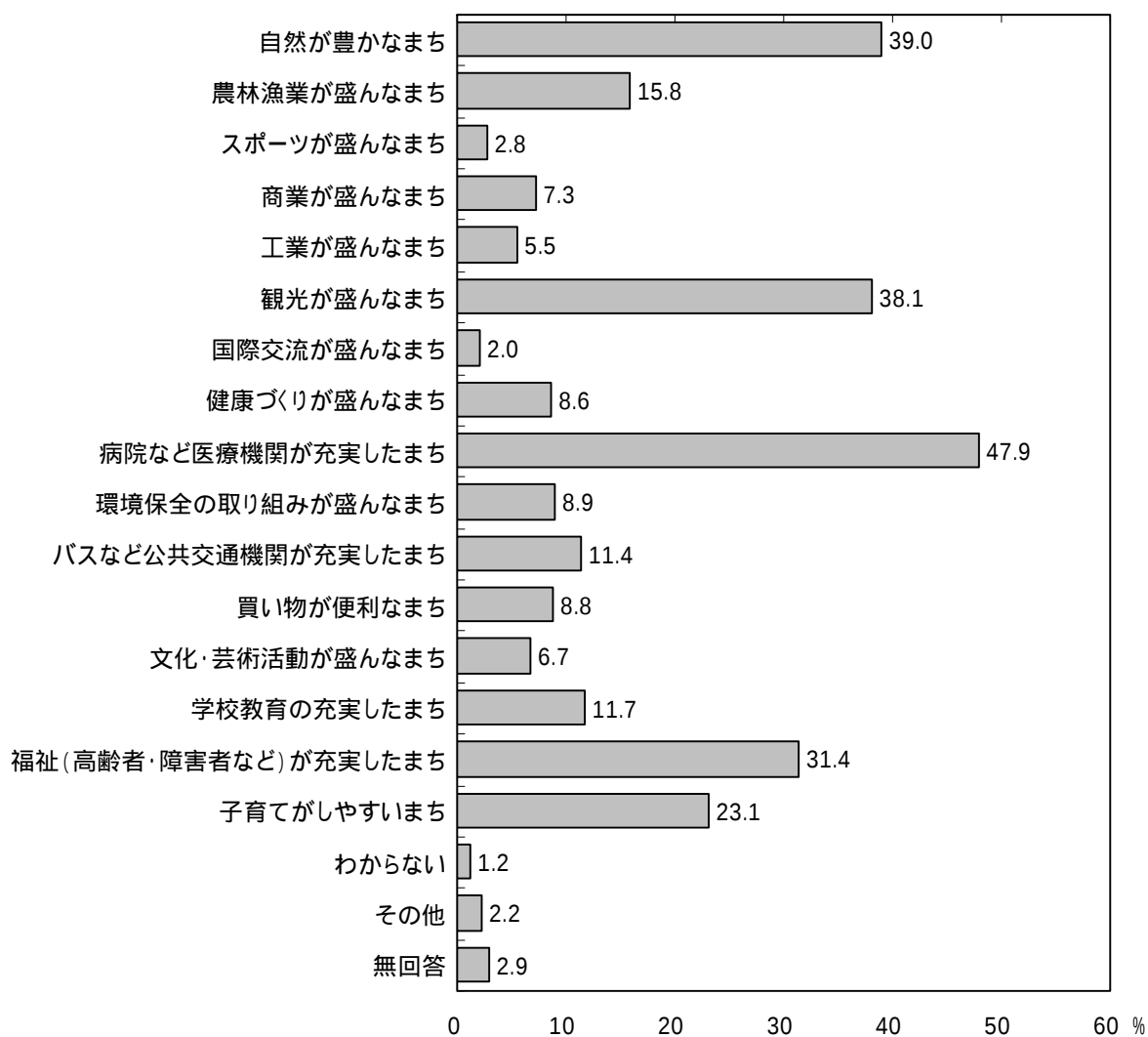


6. まちの将来像について

問24 今後、松崎町には、どのようなまちになってほしいですか。(3つまで○)

今後のまちへの希望については、「病院など医療機関が充実したまち」が47.9%と最も多く、次いで「自然が豊かなまち」が39.0%、「観光が盛んなまち」が38.1%となっています。

問24 (複数回答) n=685



性別で見ると、男性では「観光が盛んなまち」が、女性では「病院など医療機関が充実したまち」が最も多くなっています。

年代別で見ると、1位回答は年代によりばらつきがあり、10代では「自然が豊かなまち」が、20代では「子育てがしやすいまち」が、40代から70代では「病院など医療機関が充実したまち」が最も多くなっています。

	n	自然が豊かなまち	農林漁業が盛んなまち	スポーツが盛んなまち	商業が盛んなまち	工業が盛んなまち	観光が盛んなまち	国際交流が盛んなまち	健康づくりが盛んなまち	病院など医療機関が充実したまち
男性	301	40.5	18.6	4.3	8.0	7.0	43.9	2.3	7.3	41.2
女性	378	37.6	13.2	1.6	6.9	4.5	33.6	1.9	9.8	53.4

10代	10	90.0	20.0	10.0	10.0	-	70.0	20.0	-	10.0
20代	17	17.6	11.8	-	-	5.9	47.1	-	-	23.5
30代	63	36.5	4.8	7.9	12.7	1.6	60.3	3.2	1.6	41.3
40代	73	35.6	9.6	1.4	9.6	8.2	41.1	2.7	6.8	45.2
50代	130	38.5	16.9	3.1	10.0	5.4	36.2	0.8	7.7	48.5
60代	215	42.3	16.3	1.9	5.6	6.5	34.0	1.4	9.8	54.4
70代	164	36.0	20.7	2.4	5.5	5.5	32.9	1.2	12.2	48.8
80歳以上	4	50.0	-	-	-	-	50.0	25.0	50.0	25.0

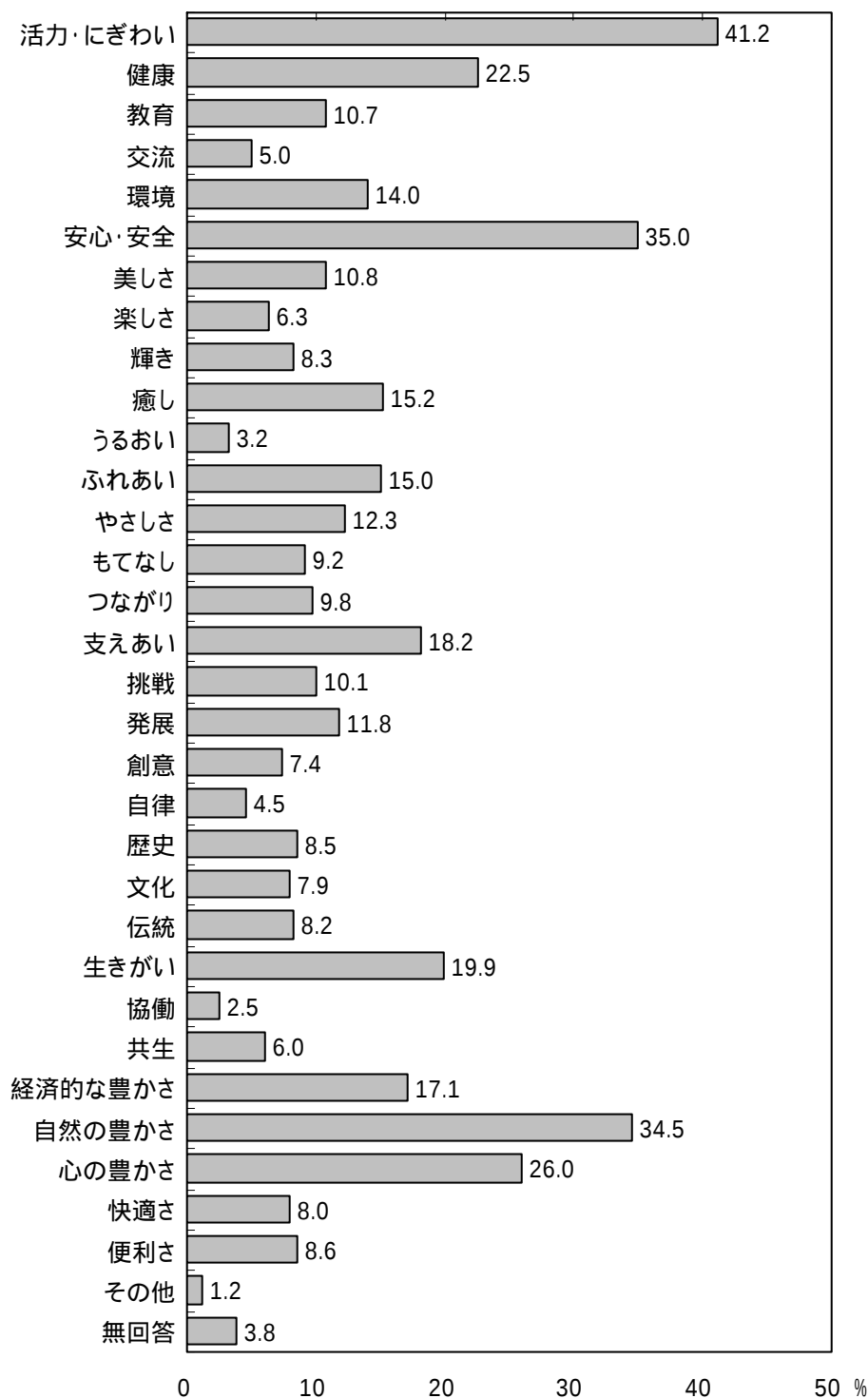
	環境保全の取り組みが盛んなまち	公共交通機関が充実したまち	買い物に便利なまち	文化・芸術活動が盛んなまち	学校教育が充実したまち	福祉施設（高齢者・障害者など）が充実したまち	子育てしやすいまち	わからない	その他	無回答
男性	7.6	9.6	7.0	8.0	12.6	29.9	21.9	1.0	2.7	3.3
女性	10.1	12.4	10.1	5.6	11.1	32.3	24.1	1.3	1.9	2.6

10代	-	10.0	30.0	-	10.0	20.0	10.0	-	-	-
20代	11.8	17.6	17.6	11.8	11.8	17.6	64.7	-	5.9	-
30代	3.2	4.8	19.0	6.3	22.2	17.5	55.6	-	3.2	-
40代	9.6	12.3	4.1	6.8	20.5	27.4	31.5	1.4	2.7	2.7
50代	12.3	7.7	6.9	5.4	15.4	33.1	23.8	1.5	2.3	1.5
60代	8.8	13.0	7.0	7.4	5.1	31.6	14.4	1.9	2.8	2.8
70代	9.1	13.4	8.5	5.5	9.1	37.8	14.6	0.6	0.6	6.1
80歳以上	-	-	-	25.0	25.0	50.0	-	-	-	-

問25 今後、松崎町がめざすべき将来像として、どのような「言葉（キーワード）」がふさわしいと思いますか。（5つまで○）

将来像のキーワードについては、「活力・にぎわい」が41.2%と最も多く、次いで「安心・安全」が35.0%、「自然の豊かさ」が34.5%となっています。

問25 (複数回答) n=685



上位 5 回答について性別で見ると、男女ともに項目は同様となっていますが、男性では「自然の豊かさ」が、女性では「安心・安全」が 2 位回答となっています。

上位 5 回答について年代別で見ると、1 位回答は年代によりばらつきがあり、10 代、20 代、50 代では「自然の豊かさ」が、30 代、40 代、60 代、70 代では「活力・にぎわい」が、80 歳以上では「健康」が最も多くなっています。

	1 位回答	2 位回答	3 位回答	4 位回答	5 位回答
男性	活力・にぎわい	自然の豊かさ	安心・安全	心の豊かさ	健康
	44.9	34.6	30.9	26.9	22.9
女性	活力・にぎわい	安心・安全	自然の豊かさ	心の豊かさ	健康
	38.4	38.1	34.7	25.4	21.7

	1 位回答	2 位回答	3 位回答	4 位回答	5 位回答
10 代	自然の豊かさ	癒し	環境	活力・にぎわい	美しさ
	70.0	50.0	40.0	30.0	30.0
20 代	自然の豊かさ	活力・にぎわい	安心・安全	美しさ	やさしさ
	41.2	29.4	29.4	23.5	23.5
30 代	活力・にぎわい	自然の豊かさ	安心・安全	心の豊かさ	美しさ
	44.4	36.5	30.2	30.2	22.2
40 代	活力・にぎわい	心の豊かさ	安心・安全	自然の豊かさ	挑戦
	46.6	31.5	30.1	27.4	21.9
50 代	自然の豊かさ	活力・にぎわい	安心・安全	生きがい	心の豊かさ
	42.3	39.2	30.0	27.7	24.6
60 代	活力・にぎわい	安心・安全	自然の豊かさ	心の豊かさ	生きがい
	41.9	38.6	35.3	27.4	23.3
70 代	活力・にぎわい	安心・安全	健康	自然の豊かさ	心の豊かさ
	41.5	38.4	31.7	28.0	23.8
80 歳以上	健康	安心・安全	教育	環境	活力・にぎわい
	75.0	75.0	50.0	50.0	25.0

問 2 6 最後に、これからの松崎町について、ご意見やご提案がありましたらご自由にお書きください。(自由回答)

自由回答は、220 人からの記述があり、「3 . 町の取り組み」と同様に分類をした結果、下記の通りの回答数となっています。特に、「計画的な行財政運営」や「消防・防災・町土の保全」、「観光の振興」への回答が多くなっています。

活力ある産業づくり		60
	観光の振興	30
	農林漁業の振興	11
	商工業の振興	8
	地域のマーケティング推進	6
	新産業の創造	5
安全で快適な居住環境づくり		73
	調和のとれた土地利用	6
	環境衛生対策の促進	5
	上下水道と温泉の整備	5
	環境保全の促進	6
	景観と住居地域の整備	4
	公園・緑地の整備	6
	交通安全・防犯対策の充実	1
	消防・防災・町土の保全	40
やさしさのある健康と福祉づくり		22
	高齢者福祉の充実	7
	児童福祉の充実	5
	保健活動の推進	1
	医療体制の充実	9
交通・情報ネットワークづくり		14
	道路・交通網の整備	11
	情報・通信基盤の整備	1
	IT(情報技術)の活用	2
未来に向けた人づくり		18
	生涯学習の充実	1
	幼児教育の充実	1
	学校教育の充実	6
	文化活動の推進	4
	文化財の保護と活用	1
	スポーツ・レクリエーションの振興	4
	国内外の交流促進	1
みんなが創るまちづくり		124
	住民と行政の協働の促進	8
	広域行政の推進	4
	計画的な行財政運営	44
その他		68

結果まとめ

1．あなたご自身のことについて

- 性別**は女性の方がやや多く、60代以上の回答が約半数。(問1)
- 職業**は、男性では「その他サービス業(お勤め)」が、女性では「家事専業(パート含む)」が多い。(問2)
- 居住年数**は、70代以上では「生まれてからずっと町内に住んでいる」が非常に多いが、60代以下では「松崎町出身だが、町外での居住経験がある」が最も多い。また、女性や30代、40代では県内の他市町村出身者が比較的多い。(問3)
- 世帯構成**は、年代が上がるほど「ひとり暮らし」や「夫婦のみ(一世代家族)」が多くなっている。(問5)

- 町民の属性として、60代以下では一度町外で居住した後Uターンとして戻ってくる場合が多い。
- 女性や30代、40代では町内出身者ではなく、県内の他市町村出身者が多い。
- 高齢者のひとり暮らしや夫婦のみの世帯も多くなっており、今後高齢者でも安心して暮らせる体制づくりが必要となる。

2．住みやすさや定住意向について

- 住みやすさ**は、「普通」が4割以上で最も多く、『住みよい』が約3割、『住みにくい』が2割以下。20代から50代では住みにくいとの回答がやや多い。(問7)
- 住みにくいところ**は、「若者が少なく、仕事もない」や、「医療や福祉が整備されてなく、高齢になった時に不安である」、「人口が少なく活気がない」などが上位。特に、住みにくいと回答した層からは、「医療や福祉が整備されてなく、高齢になった時に不安である」と「慣習などの付き合いがわずらわしい」が他に比べ多い。(問8)
- 住み続けている理由**は、40代から70代では「持ち家があるから」が、30代以下では「家族や親戚が住んでいるから」が最も多い。また、住みよいと回答した層からは、「自然が豊かだから」や「松崎町が好きだから」が他に比べ多い。(問9)
- 今後の居住意向**は、全体の6割以上が「これからも住み続けたい」となっており、特に、年代が上がるほど、住みよいと回答した層ほど多い。一方、住みにくいと回答した層では「できれば他の市町村に移りたい」が2割を超え多い。(問10)

- 住みよいと感じているのは3人に1人。
- 20代から50代では住みにくさを感じている割合が高く、その理由として働く場の充実や医療・福祉の充実が課題。
- 住み続ける理由は持ち家や家族がいるという“宿命的定住”が多いが、住みよいと感じている層では「自然が豊かだから」や「松崎町が好きだから」といった“選択的定住”が多い。
- 約7割は今後町内に住み続けたいという意向があるが、若い年代や住みにくいと感じている層では他市町村へ移りたいという意向も多く、働く場や医療・福祉を充実し、住みやすく、住み続けたいと思えるまちづくりに力を入れる必要がある。

3. 町の取り組みに対する満足度・重要度について

- **町の取り組みに対する満足度**は、「文化財の保護と活用（ ）」、「交通安全・防犯対策の充実（ ）」、「保健活動の推進（ ）」、「文化活動の推進（ ）」、「生涯学習の充実（ ）」の順に高い。一方**重要度**は、「観光の振興（ ）」、「医療体制の充実（ ）」、「消防・防災・町土の保全（ ）」、「新産業の創造（ ）」、「学校教育の充実（ ）」の順に高い。（問11）
- **重要度が高く満足度は低い**ため今後重点的に改善すべき取り組みは、「観光の振興（ ）」、「農林漁業の振興（ ）」、「商工業の振興（ ）」、「地域のマーケティング推進（ ）」、「新産業の創造（ ）」、「医療体制の充実（ ）」、「社会保障制度の充実（ ）」、「道路・交通網の整備（ ）」、「計画的な行財政運営（ ）」で、活力ある産業づくりの分野が最も多い。（問11）

- 「活力ある産業づくり」の分野が最も、重要度が高いのに関わらず満足度が低いいため、今後重点的に改善していく必要がある。

4. まちの活力づくりについて

- 若者の定住**のために重要なことは、約 9 割が「働き口(職場)の確保」と回答。20 代では「趣味や娯楽を楽しむ場の充実」が 60 代、70 代では「地域への愛着を育むための教育の充実」が多い。(問 12)
- 少子化対策**のために重要なことは、「医療費助成などの補助の充実」、「子育て支援サービスの充実」がいずれも 4 割以上と多い。(問 13)
- 高齢化対策**のために重要なことは、「生きがいのもてる趣味の場や職場の整備」、「介護予防・介護保険サービスの充実」がいずれも約 4 割と多い。(問 14)
- 観光振興**のために重要なことは、「観光施設を整備する」、「農林水産業や商工業など他分野と連携していく」がいずれも 3 割以上と多い。経年比較で見ると、「農林水産業や商工業など他分野と連携していく」が前回よりも回答順位が上がっている。(問 15)
- 防災対策**のために重要なことは、約 7 割が「災害対策としての防災基盤の整備」、次いで、約 5 割が「的確な情報提供や緊急時の体制を強化する」と回答。また、いずれも経年比較で見ると前回より多い。(問 16)
- 防災への取り組み**について、防災訓練への参加は 7 割以上、自主防災組織への参加は 4 割以上となっており、いずれも年代が高いほど参加率が高い傾向。また、避難の手助けは、30 代と 70 代以外のすべての年代で 5 割以上できると回答。(問 17)
- 協働のまちづくり**のために重要なことは、「町の施策・事業に関する情報を積極的に公開する」、「町民・地域の意見を聞く機会を充実させる」がいずれも 5 割以上と多い。(問 18)
- まちづくりや地域づくりへの参加**は、地域づくり活動が 4 割以上、自然環境保護活動が約 3 割で経年比較で見ると前回よりも多く、また、いずれも 30 代以上が多い。教育活動、文化・スポーツ活動、地域安全活動へは 30 代、40 代の参加が多い。一方、まちづくりや地域づくりへの**参加意向**は、地域づくり活動と自然環境保護活動がいずれも 4 割以上と多い。(問 19)

- 定住及び少子高齢化対策としては、働く場の確保、保健・福祉サービスの充実が、住みやすさの向上とあわせて、必要となっている。
- 防災対策については、平成 23 年 3 月の東日本大震災の影響も受けてか、前回調査より意識が高まっている。しかし、防災訓練や自主防災組織への参加率は、若い年代を中心として依然低いため、参加促進が必要。
- 地域づくりや自然環境保護活動は、前回より活発化になっている。

5 . 行政について

- **情報源**は、20 代以上では「広報・お知らせ版」が、10 代では「町内放送」が最も多い。また、20 代から 40 代では「まちのホームページ」が、50 代以上では「区長」が多い。(問 20)
- **情報提供や公開**は、『十分ではない』が 49.1%で、『十分だと思う』の 45.1%より多くなっているが、経年比較でみると『十分だと思う』は前回より 14.9 ポイント増えている。(問 21)
- **行政改革への満足度**は、『満足していない』が 59.9%で、『満足している』の 33.4%より多くなっているが、経年比較でみると『満足している』は前回より 8.7 ポイント増えている。また、30 代、40 代が特に『満足していない』が多い。(問 22)
- **行財政改革**で重要なことは、「町民ニーズを的確に把握する仕組みづくり」が 4 割を超え最も多く、経年比較で見ると前回よりも多い。(問 23)

- 情報源は約 9 割が広報であり、情報提供の際の媒体として最も有効である。しかし、年代により若い世代ではホームページや、50 代以上では区長も多いため、年代に応じた情報提供の媒体の工夫が必要となる。
- 情報提供は十分でないとの割合の方が十分との割合をやや上回るものの、十分との割合は前回調査に比べ約 15 ポイント増加しており、改善が見られている。今後も、一層の情報提供や公開を進めていく必要がある。
- 行政改革への満足度は、満足が約 3 割に対し満足していないが約 6 割となっているものの、満足との割合は前回調査に比べ約 9 ポイント増加しており、やや改善が見られている。今後も、一層の行財政改革の推進が必要である。

6 . まちの将来像について

- **今後の町への希望**は、30 代から 70 代を中心に「病院など医療機関が充実したまち」が最も多く、次いで「自然が豊かなまち」、「観光が盛んなまち」が多い。(問 24)
- **将来像のキーワード**は、「活力・にぎわい」が約 4 割、次いで「安心・安全」と「自然の豊かさ」が 3 割以上で多い。(問 25)

- 住みよさや少子高齢化対策ともつながる、保健医療の分野への期待が最も多く、今後力を入れていく必要がある。
- 自然や観光についても、松崎町ならではの特征として、今後の期待が多い。